

ISSN 1882-5230

むかわ町
穂別博物館館報

第36号

平成30（2018）年度版

むかわ町穂別博物館

目 次

沿革	-----	(p.1)
施設の概要	-----	(p.5)
施設平面図	-----	(p.5)
展示活動	-----	(p.6)
教育普及活動	-----	(p.8)
広報活動	-----	(p.16)
資料収集保存活動	-----	(p.22)
調査研究活動ほか	-----	(p.27)
運営	-----	(p.30)

むかわ町穂別博物館は、昭和 57(1982) 年に開設され現在に至っている。

昭和 50(1975) 年に発見された長頸竜「ホベツアラキリュウ」標本が契機となり設置計画が検討された当初は「穂別町郷土資料館」との名称だったが、建設計画では「穂別町立博物館」として名称変更されている。

当博物館では「本町（旧 穂別町）で発見される化石（自然史）」の研究・保存・普及と「町の歴史（人文）」の保存・普及を行う総合博物館として運営していたが、約 10 年にわたる博物館活動の結果、自然史系資料の蓄積量と人文系資料の保存等に要する作業量に大きな差が生じ、活動方針の変更が余儀なくなった。

そこで活動方針を「穂別地域で産出する古生物（化石）を材料とし『地球と生命の歴史を考える』総合博物館とする」ことに変更した。

ここではその経緯を記録し、今後の活動等の充実と強化に努めていきたい。

なお、当博物館は、国の公立社会教育施設整備事業及び北海道市町村振興事業の補助を受け建設されている。

I 「建設の目的」と「展示更新」、「名称変更」

〈穂別町郷土資料館建設の目的〉

『本町は、クビナガリュウをはじめデスモスチルス、海ガメなど多くの動植物の化石が発見されることから、道内でも特異な地質条件にあることが予想される。こうした自然環境を背景に、先人は寒冷地での生活に耐え抜いて開拓の苦闘に打ち勝って穂別の歴史を展開してきた。穂別町開町 70 年（町制施行 20 年）を記念して、本町の地質系統と生物の進化、開拓の足跡を示す歴史資料を収集・保存・展示して、先人がいかに自然との調和を図りながら開拓を進めてきたかを理解し、そして未来を創造するために穂別町郷土資料館を建設するものである。』

〈昭和 55(1980) 年 11 月 26 日〉

〈展示更新の基本的考え方〉

『穂別地域で発見される脊椎動物を始めとするさまざまな化石群が、学術的に貴重なものであることは主張するまでもない。さらに、化石を古生物としてみた場合、学術的な意味を離れても、一般の観覧者にさまざまな示唆を与えてくれるものなのである。

旧来の博物館と異なり、化石をいわゆる「変・古・珍」として扱わず、「我々人間につながる生き物」として見ることを展示の基本に置く。実物は「穂別地域産」にこだわり、模型は「生きていたときの姿」にこだわる。そして、現在の種々の生き物達の間接関係と同じく、過去の「古」生物達にも同様の生態系としての関連があったこと、さらに、それらは数十億年も昔から現在にかけて綿々と続く「生命の歴史」の 1 頁 1 頁であることを理解させる博物館とする。』

〈平成 2(1990) 年 6 月 27 日〉

〈市町村合併による名称変更〉

平成 18(2006) 年 3 月 27 日に穂別町と鶴川町の合併によって「むかわ町」が誕生し、町立博物館である当館の名称は、新町の名称に合わせて変更する必要性が生じた。しかしながら、これまでの実績との継続性、また、登録資料番号（HM-：HOBETSU MUSEUM の略）の維持のため、新名称には「穂別」の文字を残すこととし、新たな名称を「むかわ町穂別博物館」（英語表記：HOBETSU MUSEUM）とした。

II 沿革

- * 本年表において「長頸竜」・「首長竜」・「クビナガリュウ」・「ホベツアラキリュウ」の使い分けは、以下の通り。
- ・長頸竜：動物分類上の suborder PLESIOSAURIA の和訳として用いている。「蛇頸竜亜目」または「長頸竜亜目」が正式名称。
- ・首長竜：「発掘調査団」の固有名称として使用。
- ・クビナガリュウ：長頸竜の通称として使用。
- ・ホベツアラキリュウ：「穂別町首長竜化石発掘調査団」によって発掘された長頸竜標本の名称。
- * 名称等は、当時のまま表記してある。

昭和 50(1975) 年

- 6月：荒木新太郎氏（穂別町在住）が穂別町字長和において、脊椎動物化石の入った母岩を発見、一部を採集した。

昭和 51(1976) 年

- 9月：佐藤昌人指導員（苫小牧青少年センター）・佐藤隆久教諭（穂別町立仁和小学校）が荒木氏発見の脊椎動物化石を長谷川善和主任研究員（国立科学博物館）に鑑定を依頼した。

昭和 52(1977) 年

- 2月：長谷川主任研究員の鑑定結果が新聞で報道された。荒木氏発見の脊椎動物化石が白亜紀海棲爬虫類の鱗の一部であると確認された。
- 7月5-8日：「穂別町首長竜化石発掘調査団」結成、発掘調査。この長頸竜標本を後に「ホベツアラキリュウ」と命名。

昭和 53(1978) 年

- 5月：「ホベツアラキリュウ」標本のクリーニング（剖出）作業開始
- 11月：穂別町立郷土資料館 開館（旧・穂別町立さくら保育所施設利用）

昭和 54(1979) 年

- 3月5日：「首長竜化石骨」が穂別町指定文化財第2号に指定される。（平成元年4月1日より、「ホベツアラキリュウ化石骨」と呼称）

昭和 55(1980) 年

- 10月16日：「穂別町郷土資料館建設計画検討委員会」発足

昭和 56(1981) 年

- 3月13日：施設の名称を穂別町郷土資料館から穂別町立博物館に変更

昭和 56(1981) 年

- 7月-12月：博物館建設工事
- 9月1日：鈴木茂学芸員就任（-昭和60年3月31日）

昭和 57(1982) 年

- 1月16日：長頸竜復元作業開始
- 3月-6月：博物館展示工事
- 7月20日：博物館開館。一般公開開始（初代館長：今幸太郎教育長兼任）
- 8月26日：「博物館協議会」発足
- 11月1日：北海道博物館協会加入
- 12月19日：長頸竜（ホベツアラキリュウ）復元骨格展示公開
- 12月19日-1月23日：特別展（第1回）「よみがえるクビナガリュウ」

昭和 58(1983) 年

- 3月2日：博物館法による登録博物館となる（北博登第28号）
- 3月28日：「博物館協力会」設立
- 4月1日：日本博物館協会加入
- 4月28日：菅原康次（第二代）館長就任
- 7月22日-8月7日：収蔵資料展（第1回）「地図展」
- 8月1日：全国科学博物館協議会加入
- 11月1日-3日：収蔵資料展（第2回）「こけし展」

昭和 59(1984) 年

- 2月：村上隆著「よみがえるクビナガリュウ」発刊
- 3月27日：「穂別町立博物館研究報告」刊行開始
- 6月14日：第二展示室（町立博物館保存庫）完成
- 11月1日-4日：収蔵資料展（第3回）「古い写真・古い文書展」
- 12月1日：桜庭勝美（第三代）館長就任

昭和 60(1985) 年

- 3月30日：「穂別町立博物館館報」刊行開始
- 5月1日：地徳力学芸員就任（-平成11年3月31日）
- 11月1日-10日：特別展（第2回）「北海道一億年」

昭和 61(1986) 年

- 10月21日-11月9日：特別展（第3回）「穂別の自然」

昭和 62(1987) 年

- 1月1日：今幸太郎（第四代）館長就任（教育長兼任）
- 7月28日-8月9日：特別展（第4回）「アンモナイトの系図」

昭和 63(1988) 年

- 7月17日：第三展示室（保存庫）完成
- 8月23日-9月4日：特別展（第5回）「穂別のカメラ化石」
- 10月6日：今幸太郎（第五代）館長就任（専任）

平成元(1989) 年

- 6月30日：仲谷英夫氏（香川大学助教授）：長頸竜ホベツアラキリュウ標本の記載論文公表
- 7月18日-8月20日：特別展（第6回）「穂別のむかし = 写真で見る穂別の歴史 =」
- 9月29日-10月6日：地徳学芸員をカナダ・アルバータ州ティレル古生物学博物館に派遣した。

平成 2(1990) 年

- 7月23日：ドラムヘラー市長夫妻（カナダ、アルバータ州）来館
- 8月18日-9月16日：特別展（第7回）「戦争と穂別」
- 9月3日-5日：レイド、M.G.氏（アルバータ州ティレル古生物学博物館）来館
- 12月31日：野田藤雄（第六代）館長就任（教育長兼任）

平成 3(1991) 年

- 4月1日：佐藤稔（第七代）館長就任
- 4月28日、29日：入館者10万人突破記念事業

平成 4(1992) 年

- 2月1日：展示更新工事開始
- 4月23日-25日：カーリー、P. J.氏（アルバータ州ティレル古生物学博物館）来館
- 4月29日：展示更新完了、一般公開再開

平成 6(1994) 年

- 4月1日：野田藤雄（第八代）館長就任（教育長兼任）
- 4月1日：川上源太郎学芸員就任（-平成10年3

月 31 日)
 平成 7(1995) 年
 7 月 15 日-9 月 12 日:川上学芸員をカナダ・アルバータ州ティレル古生物学博物館に派遣、研修。
 8 月 12 日:かせき学習館完成
 平成 8(1996) 年
 7 月 27 日-28 日:96 北海道化石サミット開催(穂別町民センター)
 10 月 6 日:大江美津夫(第九代)館長就任
 平成 9(1997) 年
 7 月 6 日、7 月 10 日-8 月 31 日:クビナガリュウ発掘 20 周年記念事業パネル展(第 8 回特別展)
 平成 10(1998) 年
 4 月 1 日:櫻井和彦学芸員就任(-現在)
 6 月 11 日:星功(第十代)館長就任
 8 月 11 日-8 月 31 日:特別展(第 9 回)「地球物語り(地質学普及書の近代史)」
 平成 11(1999) 年
 1 月 1 日:山田正(第十一代)館長就任
 5 月 29 日:入館者 30 万人突破記念事業
 8 月 1 日-8 月 31 日:特別展(第 10 回)「滄龍の泳いだ海-7000 万年前の穂別-」
 10 月 5 日-11 月 28 日:特別展(第 11 回)「穂別の自然」
 平成 12(2000) 年
 8 月 1 日-8 月 31 日、9 月 14 日-10 月 1 日:特別展(第 12 回)「穂別の石-川原の石から見た穂別」
 9 月 14 日-10 月 1 日:日胆地区博物館等連絡協議会主催移動展「日高・胆振の博物館紹介」
 平成 13(2001) 年
 8 月 1 日-8 月 25 日:特別展(第 13 回)「穂別町立博物館の 20 年-クビナガリュウとともに-」
 平成 14(2002) 年
 4 月 28 日-5 月 17 日:特別展(第 14 回)「ツノのある奇妙なカメ-海の穂別からリクガメ化石の発見-」
 7 月 1 日-21 日:特別展(第 15 回)「穂別町立博物館の 20 年-クビナガリュウとともに-」(再公開)
 7 月 20 日:開館 20 周年記念講演・討論会「化石の里(まち)の博物館」
 7 月 27 日-8 月 9 日:博物館協力会企画展「穂別の化石」
 8 月 31 日-9 月 27 日:特別展(第 16 回)「穂別のカメ化石-恐竜時代のウミガメとリクガメ」
 平成 15(2003) 年
 1 月 1 日:清川博之(第十二代)館長就任
 7 月 20 日-8 月 31 日:特別展(第 17 回)「穂別を泳いだモササウルス」
 11 月 1 日-1 月 31 日:特別展(第 18 回)「虫とくらし」(協力:北海道開拓記念館)
 平成 16(2004) 年
 7 月 17 日-8 月 31 日:特別展(第 19 回)「クジラとデスマスチルス-穂別を泳いだ哺乳類-」
 10 月 30 日-12 月 12 日:特別展(第 20 回)「火山と地震-佐々保雄北海道大学名誉教授一括資料展」
 平成 17(2005) 年

7 月 16 日-8 月 31 日:特別展(第 21 回)「ホベツアラキリュウ発見 30 年」
 10 月 29 日-12 月 18 日:特別展(第 22 回)「絵はがきは語る-旅の思い出・昔のまちなみ-」(協力:北海道開拓記念館)
 平成 18(2006) 年
 3 月 27 日:「むかわ町」誕生(穂別町・鶴川町の合併による)、当館の名称を「むかわ町立穂別博物館」と改称
 3 月 27 日:本多廣行(第十三代)館長就任
 7 月 15 日-9 月 3 日:特別展(第 23 回)「貝が語るむかわの一億年」
 10 月 28 日-12 月 17 日:特別展(第 24 回)「むかわの自然-山と干潟の生き物たち-」
 平成 19(2007) 年
 4 月 1 日:柏恵一(第十四代)館長就任
 7 月 21 日-9 月 2 日:特別展(第 25 回)「むかわの一億年-化石や石が語る五つの海」
 11 月 3 日-12 月 2 日:特別展(第 26 回)「鉱業のまち、ほべつ-穂別の炭鉱と鉱山の歴史-」
 平成 20(2008) 年
 7 月 19 日-8 月 31 日:特別展(第 27 回)「海へ帰った動物たち-穂別のセキツイ動物の秘密-」
 11 月 1 日-12 月 7 日:特別展(第 28 回)「穂別 D 遺跡-一万年前の人々のくらし-」
 平成 21(2009) 年
 7 月 18 日-9 月 30 日:特別展(第 29 回)「穂別海竜博物館-穂別を泳いでいた海竜たち-」
 平成 22(2010) 年
 2 月 6 日-5 月 30 日:特別展(第 30 回)「北海道アンモナイト図鑑」
 7 月 17 日-10 月 31 日:特別展(第 31 回)「白亜紀ウミガメ化石展」
 平成 23(2011) 年
 3 月 19 日-5 月 29 日:特別展(第 32 回)「白亜紀巨大二枚貝 イノセラムス・ホベツエンシス展」
 4 月 1 日:今莊光男(第十五代)館長就任
 7 月 23 日~10 月 30 日:特別展(第 33 回)「歯のかたち-クビナガリュウ vs モササウルス-」
 12 月 3 日:「モササウルス国際シンポジウム」
 平成 24(2012) 年
 4 月-平成 25(2013) 年 3 月:穂別産恐竜化石(むかわ竜)発掘調査 書類申請準備
 12 月 25 日-平成 25(2013) 年 3 月 6 日:むかわ町モササウルス類化石複製品作成委託
 平成 25(2013) 年
 4 月 1 日:阿部勉(第十六代)館長就任
 4 月 1 日:西村智弘学芸員(嘱託)就任(平成 21 年~平成 24 年度 普及員)
 9 月 2 日-10 月 5 日:穂別産恐竜化石(むかわ竜)発掘調査(第一次発掘)
 平成 26(2014) 年
 9 月 1 日:「国立大学法人北海道大学総合博物館とむかわ町の相互協力協定書」の締結
 9 月 4 日-9 月 30 日:穂別産恐竜化石(むかわ竜)発掘調査(第二次発掘)
 平成 27(2015) 年

- 4月1日：加藤英樹（第十七代）館長就任
- 4月1日：西村智弘学芸員（正職員）就任
- 9月12日-9月30日：穂別恐竜化石（むかわ竜）
発掘調査（第三次発掘）

平成 28(2016)年

- 4月1日：田口 博（第十八代）館長就任
- 7月16日～11月6日：特別展（第34回）「モサ
サウルス展」
- 7月30日-9月18日：穂別恐竜化石（むかわ竜）
発掘調査（第四次発掘）

平成 29(2017)年

- 4月1日：むかわ町指定登録文化財第4号～10号
が指定される。
- 9月29日：ホベツアラキリュウ化石骨（HMG-1）
が北海道指定天然記念物として指定される。

平成 30(2018)年

- 4月1日：櫻井和彦（第十九代）館長就任（元・学芸員）

平成 30（2018）年

- 5月31日：「国立大学法人北海道大学総合博物館と
むかわ町との連携・協力に関する覚書」の取り
交わし。
- 9月6日：平成三十年北海道胆振東部地震発生（む
かわ町穂別は震度6強）。穂別博物館臨時休館
（～9月29日）。
- 11月1日：「むかわ町穂別の古生物化石群」が北海
道遺産に認定される（第64号）。
- 11月11日：むかわ町穂別博物館内に北海道大学総
合博物館古生物学研究分室の開設。



開館当時の穂別博物館（空撮）



現在の穂別博物館

施設の概要

【位 置】

北海道勇払郡むかわ町穂別 80 番地 6

平成 21 年度：展示映像機器整備

「太古の海 - クビナガリュウからのメッセージ」

事業費：4,116,000 円（消費税込）

【町立博物館】

〔構造規模〕

建築構造：鉄筋コンクリート平屋建

建築面積：1,100m²

常 設 展 示 室	372.88m ²
特 別 展 示 室	99.08m ²
収 蔵 庫	86.56m ²
事 務 室	40.50m ²
研 究 室	31.50m ²
整 理 室	29.92m ²
学 習 展 示 室	184.75m ²
書 庫	35.05m ²
共 用 部 門	219.76m ²

〔工 期〕

昭和 56 年度～ 57 年度

〔総事業費〕

362,165,000 円

〔展示更新〕

平成 3 年度～平成 4 年度：博物館展示替え工事

事業費：99,910,000 円（消費税込）

平成 5 年度：マルチスライドイメージソフト制作

事業費：6,890,700 円（消費税込）

【かせき学習館】

〔構造規模〕

建築構造：鉄筋コンクリート平屋建

建築面積：325.89m²

事 務 室	56.70m ²
作 業 室	56.70m ²
書 庫	14.04m ²
レ プ リ カ 室	12.15m ²
処 理 室	12.15m ²
展 示 物 保 管 庫	162.00m ²
共 用 部 門	12.15m ²

〔工 期〕

平成 7 年度

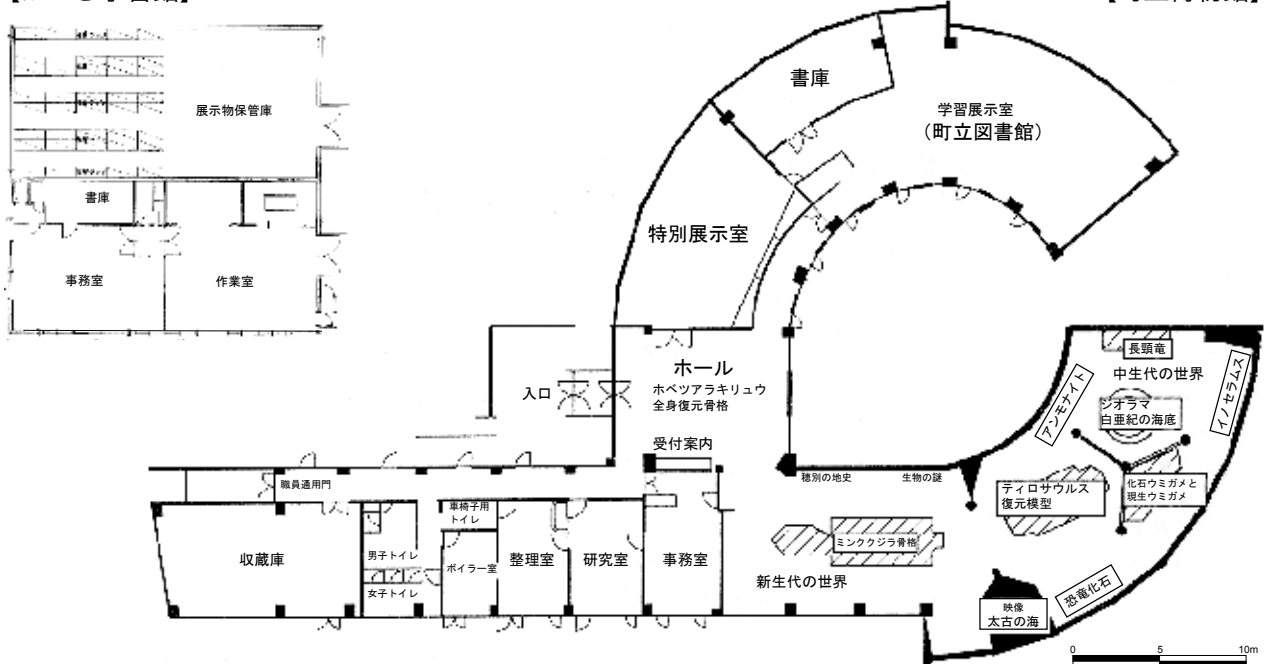
〔総事業費〕

57,092,900 円（消費税込み）

施設平面図

【かせき学習館】

【町立博物館】



展示活動

I 常設展示

主にむかわ町穂別地区から産出した動物化石を中心に、地質・化石資料やその復元模型を展示している。

【常設展示の変更等】

5月19日 館内パズルラリーの設置

常設展示・ホールに設置しているパズルピースを集めて古生物イラストを完成させる教材。「ホベツアラキリュウと同時代の生きもの(白亜紀サントニアン～カンパニアン前期)」「むかわ竜と同時代の生きもの(白亜紀末マーストリヒチアン)」「フォスフォロサウルスと同時代の生きもの(マーストリヒチアンの夜)」

6月5日 むかわと世界の恐竜展パネル(A4サイズ)、スライドショー(ミニ企画展で制作したもの)設置

9月6日～(胆振東部地震被害)

現生ミンククジラ頭部破損、現生ゴマフアザラシ全身骨格破損、クビナガリュウ HMG-1079 椎骨1点破損、クビナガリュウ HMG-357 椎骨3点破損

12月17日 防犯カメラ設置

常設展示室のアンモナイト化石2点の盗難(2018年7月～8月)を受けて、展示資料管理のために、計4台(入口ホール1台、常設展示室3台)の防犯カメラを設置した。

1月18日 入口ホールのホベツアラキリュウ周辺の大形アンモナイトの追加(13点)

3月12日 大形イノセラムスの追加(1点)



館内パズルラリーの設置(18.5.19)



大形アンモナイトの追加(19.1.18)



大形イノセラムスの追加(19.3.12)

【常設展示資料】

種 別		分 類		点 数	
化 石	中生代	脊椎動物	魚類	11	44
			爬虫類 (恐竜 1、長頸竜 8 [*] 、モササウルス 15 [*] 、カメ 7、他 2)		
		軟体動物	頭足類 191、腹足類 10、斧足類 49、掘足類 1		251
		その他動物	節足動物 7、棘皮動物 6、刺胞動物 3		16
		植物			13
	生痕			2	
	新生代	脊椎動物	魚類	4	24
			哺乳類 (クジラ 9、束柱類 2 [*] 、他 9 [*])		
		軟体動物	腹足類 25、斧足類 27、掘足類 4		56
		その他動物	節足動物 3、棘皮動物 1		4
植物				8	
現生生物	脊椎動物	爬虫類 (カメ)	3	11	
		哺乳類 (クジラ 5、他 3)			8
	軟体動物	頭足類 2		2	
	その他動物	節足動物 1、棘皮動物 2、刺胞動物 2		5	
	植物			1	
岩石・鉱物				31	
復元模型	脊椎動物	爬虫類 3 (長頸竜 1、モササウルス 1、ウミガメ 1)、哺乳類 1		4	
その他	その他模型 3、映像 4				7
合 計				479	

(2019年3月31日現在) ※レプリカ含む



ミンククジラほか現生骨格標本の展示 (震災前)



むかわ竜展示コーナー

教育普及活動

※利用者の区分は以下の通り

幼：小学生未満、小：小学生～高校生、大：一般

I 博物館事業（博物館の主催・共催事業）

【企画展等】

「むかわと世界の恐竜パネル展（再公開）」

会期：平成 30(2018)年 4月 28日～5月 31日

会場：穂別博物館特別展示室

内容：むかわ竜と同じ白亜紀後期マーストリヒチアンの恐竜をパネルで紹介、むかわ竜のクリーニング済み新規資料を展示、ハドロサウルス科恐竜エドモントサウルスの頭骨レプリカを展示。恐竜イラストパズルなどを新規製作。（以上平成 28年と同内容）ティラノサウルス スコッティ頭骨レプリカ展示。恐竜イラストパズル 10種類製作、恐竜イラストクイズ（スライドショー）製作。

「寄贈資料展 2018」

会期：平成 30(2018)年 7月 20日～12月 2日

会場：穂別博物館特別展示室

内容：近年寄贈された資料の展示。大型アンモナイト、北海道産のアンモナイト、海外産のアンモナイト、クリーニング前の脊椎動物化石など。計 330点を展示。伊豆倉正隆氏（札幌市）寄贈のアンモナイト化石などが計 229点。

「北海道里平産アンモナイト展示」

会期：平成 31(2019)年 3月 26日～令和元(2019)年 6月 2日@特別展示室

会場：穂別博物館特別展示室

内容：3新種アンモナイトを含む 141点アンモナイト事業等：3月 26日 重田康成グループ長（国立科学博物館）・伊豆倉正隆氏（寄贈者・札幌市）マスメディア対応



「むかわと世界の恐竜パネル展」（18.4.28～5.31）



「寄贈資料展 2018」（18.7.20～12.2）



「北海道里平産アンモナイト展示」（19.3.26～6.2）

【共催の企画展】

「むかわ竜全身骨格完全版大公開」(主催：恐竜ワールド戦略室)

会期：平成 30(2018)年 11 月 11 日・17 日・18 日
(11 月 10 日設置、11 月 20 日撤去)

会場：穂別町民センター 多目的ホール

見学者：計 4,200 名(11 月 11 日 1,202 人、17 日 1,405 人、18 日 1,593 人)

事業等：11 月 10 日 服部雅人氏(復元画家)・小林快次准教授(北海道大学総合博物館)講演(110 名ほど参加)

11 月 17 日 佐藤たまき准教授(東京学芸大学)講演(40 名ほど参加)

【町民文化祭】

北海道胆振東部地震の影響により中止



むかわ竜全身骨格大公開
(北海道大学総合博物館小林快次准教授による解説)



ハドロキッズチーム(むかわ町子ども化石くらぶ) 第 3 回

【恐竜化石発掘体験ツアー】

むかわ竜発掘現場における化石の発掘体験ツアーについて、平成 30(2018)年 9 月に 6 日間全 12 回の実施を予定していたが、北海道胆振東部地震の影響により、全ての回を中止した。

【ハドロキッズチーム(むかわ町子ども化石くらぶ)】
(恐竜ワールド戦略室が中心的に運営)

「将来の古生物学者を応援する」ことを目指して町内外の小学生を対象に一年を通じて化石の学習プログラムを実施。

第 1 回(5 月 27 日)：学芸員による展示案内、学芸補助員によるクリーニング体験など(低学年<2~4 年生>21 名・高学年<5~6 年生>8 名)

第 2 回(6 月 24 日)：課題化石のスケッチ・化石採集 低学年の部(午前)23 名・高学年の部(午後)8 名

第 3 回(7 月 30-31 日)：宿泊学習(化石採集、クリーニング、課題化石学習、大学生講義など) 低学年 25 名・高学年 10 名

第 4 回(8 月 26 日)：課題化石グループ学習、化石クリーニング 低学年(午前)15 名・高学年(午後)6 名

第 5 回(9 月 30 日)：北海道胆振東部地震の影響で中止

第 5 回(10 月 28 日)：むかわ竜発掘現場での化石発掘体験、特別授業(平山廉教授：早稲田大学)、化石クリーニング、課題化石グループ学習(低学年 19 名・高学年 7 名)

第 6 回(11 月 18 日)：むかわ竜全身化石の見学、特別授業(佐藤たまき准教授：東京学芸大学)、課題化石のまとめ・発表会、修了式(低学年 22 名・高学年 8 名)



ハドロキッズチーム(むかわ町子ども化石くらぶ) 第 6 回

【恐竜デー 2018】

来館者を対象とした化石体験コーナーとして「恐竜デー 2018」を大型連休および夏休みに実施した。

(1) 大型連休：恐竜デー 2018GW

<会期>

平成 30(2018)年 5月 3～6日 (4日間)

<実施内容>

- ①むかわ竜産地岩石プレゼント：約 7,200 万年前の岩石を博物館受付窓口にて配布 (各日先着 50 名)
- ②アンモナイトレプリカアクセサリー制作：温めると軟化するプラスチック樹脂を用いたアンモナイトレプリカのストラップづくり (1 個 100 円、むかわ町民 1 個まで無料) 結果的に全員一人 1 個制作

<開催日・実績>

平成 30(2018)年 5月 3日

① 50 個、② 94 個・94 名 (町民 3)

平成 30(2018)年 5月 4日

① 50 個、② 91 個・91 名 (町民 0)

平成 30(2018)年 5月 5日

① 50 個、② 117 個・117 名 (町民 0)

平成 30(2018)年 5月 6日

① 50 個、② 33 個、③ 33 名 (町民 1)

計

①むかわ竜産地岩石プレゼント：200 個

②アンモナイトレプリカアクセサリー制作：延べ 335 名 (うち町民 4 名)

(2) 夏休み：恐竜デー 2018 夏

<会期>

平成 30(2018)年 7月 28日・29日・4日・5日・11日・12日 (6日間)



恐竜デー 2018 夏「恐竜化石バックヤードツアー」

<実施内容>

- ①むかわ竜産地岩石プレゼント：GW と同内容。
- ②恐竜化石バックヤードツアー：むかわ竜の説明と収蔵庫およびむかわ竜化石のクリーニング作業の案内と解説。午前・午後各 1 回ずつ。
- ③恐竜の歯化石をさがそう：むかわ竜発掘現場から採集してきた岩石を砕き、むかわ竜の歯を探す体験。
- ④アンモナイトレプリカアクセサリー制作：GW と同内容。
- ⑤化石レプリカづくり：全 31 種類の常設展示標本の石膏模型づくり。それぞれ解説シート付き。材料費として 1 個 100 円を徴収。

<開催日・成果>

平成 30(2018)年 7月 28日

① 50 個、② AM9 名・PM20 名、③ AM10 名・PM11 名、④ 39 名 (町民 21 名)、⑤ 4 名 (町民 4 名)

平成 30(2018)年 7月 29日

① 50 個、② AM7 名・PM8 名、③ AM10 名・PM10 名、④ 21 名 (町民 2 名)、⑤ 8 名 (町民 2 名)

平成 30(2018)年 8月 4日

① 50 個、② AM14 名・PM9 名、③ AM8 名・PM7 名、④ 14 名 (町民 2 名)、⑤ 2 名 (町民 2 名)

平成 30(2018)年 8月 5日

① 50 個、② AM4 名・PM13 名、③ AM4 名・PM11 名、④ 64 名 (町民 3 名)、⑤ 7 名 (町民 0 名)

平成 30(2018)年 8月 11日

① 50 個、② AM32 名・PM35 名、③ AM10 名・PM5 名、④ 51 名 (町民 0 名)、⑤ 10 名 (町民 0 名)

平成 30(2018)年 8月 12日

① 50 個、② AM31 名・PM31 名、③ AM11 名・PM10 名、④ 80 名 (町民 4 名)、⑤ 4 名 (町民 0 名)

計

①むかわ竜産地岩石プレゼント：300 個

②恐竜化石バックヤードツアー：213 名

③恐竜の歯化石をさがそう：107 名

④アンモナイトレプリカアクセサリー制作：301 名

⑤化石レプリカづくり：43 名

【ワークシート等】

来館者を対象に、博物館展示室に各種シートを設置。自由参加のため、数は確認していない。

- ①博物館探検シート：クイズ形式で、展示室の化石について学ぶ (全 4 種類)。
- ②館内パズルラリー：展示資料近くに設置している生態復元図をはめて、パズルを完成させる (全 3 種類) (5月 19日設置)

II 運営協力等

【講師派遣】

(1) 室蘭工業大学「胆振学入門」

題名：「むかわ町穂別から恐竜化石の発見」

講師：櫻井和彦館長

開催日：①平成 30(2018)年 5 月 7 日

②平成 30(2018)年 6 月 18 日

会場：室蘭工業大学

参加人数：第 1 回 137 名、第 2 回 157 名

(2) 仙台市科学館特別展 恐竜最前線関連講演会

題名：「北海道むかわ町穂別の恐竜時代の生き物」

講師：西村智弘学芸員

開催日：平成 30(2018)年 7 月 21 日

会場：日仙台市科学館エントランスホール

参加人数：約 40 名

【運営協力】

(1) 仙台市科学館特別展「恐竜最前線」

会期：平成 30(2018)年 7 月 21 日～8 月 26 日

(8 月 27 日～28 日標本撤収：西村学芸員)

会場：仙台市科学館

協力内容：むかわ竜化石椎骨等・画像等貸出し

(2) 北海道 150 年記念式典

会場：北海道立総合体育センター（北海きたえーる）

①むかわ竜化石展示

平成 30(2018)年 8 月 5 日：天皇・皇后両陛下御

観覧（小林快次准教授御説明）

展示：頭骨一部、大腿骨、尾椎骨

(8 月 4 日搬入・設置)

平成 30(2018)年 8 月 6 日～7 日：メイン会場に

て展示（北海道サイエンスフェスティバル）

展示：大腿骨、尾椎骨

(8 月 5 日移設、8 月 7 日撤去)

②ティラノサウルス スコッティ展示

平成 30(2018)年 8 月 6 日～7 日メイン会場にて

展示（北海道サイエンスフェスティバル）

展示：全身復元骨格

(8 月 5 日搬入・設置、8 月 7 日撤去)

(3) 茨城県立自然博物館 企画展「体験！発見！恐竜研究所」

会期：平成 31(2019)年 2 月 16 日～令和元(2019)

年 6 月 9 日

会場：ミュージアムパーク茨城県自然博物館

協力内容：むかわ竜化石椎骨等貸出し

(2 月 15 日～16 日標本運搬：西村学芸員)

【実施協力等】

(1) 「竜学」対応

主催：にっぽん恐竜協議会

実施日：平成 30(2018)年 11 月 11 日

会場：むかわ竜発掘現場、穂別博物館

内容：協議会加盟自治体の相互交流。兵庫県丹波市の小学校 6 年生 8 人が来町し、穂別小学校 6 年生・鶴川中央小学校 6 年生と交流した。

博物館は展示見学、むかわ竜発掘現場での化石採集、化石レプリカづくり、化石クリーニング体験で対応した。

参加者：小 8・大 6



室蘭工業大学「胆振学入門」(18.5.7)



北海道 150 年記念「北海道サイエンスフェスティバル」

(2) 北海道化石フェスト 2019

主催：北海道恐竜・化石ネットワーク研究会

会期：平成 31(2019) 年 1 月 13 日

会場：北海道博物館

内容：アンモナイトレプリカアクセサリーづくり (体験コーナー 10:00-16:00)

対応：中村学芸補助員、本間学芸補助員

参加人数：149 名

【学術協力・運営協力】

(1) 地質調査手伝い

協力者：太田晶氏（北海道大学修士学生）

日時：平成 30(2018) 年 5 月 14 日、16 日、19 日

場所：むかわ町穂別平丘パンケルサノ沢など

担当：西村智弘学芸員

(2) むかわ竜全身化石の撮影

協力者：NHK 展示部門、小林快次准教授（北海道大学総合博物館）

日時：平成 31(2019) 年 1 月 28 日（撤収 1 月 29 日）

会場：旧仁和小中学校体育館（むかわ町穂別仁和）

内容：改めてむかわ竜の全身の化石骨を並べて写真撮影の実施。

【取材対応・撮影協力等】

(1)NHK 取材対応（夏の B S スペシャル番組用）

①日時：平成 30(2018) 年 4 月 12 日～13 日

会場：旧仁和小中学校体育館（むかわ町穂別仁和）

内容：むかわ竜骨並べ

対応：学芸員・学芸補助員（小林准教授帯同）

②日時：平成 30(2018) 年 4 月 14 日

会場：穂別博物館

内容：博物館資料撮影

対応：西村学芸員

(2)NHK 取材 むかわ竜紹介（NHK 関連会社 黒田ディレクターほか）

日時：平成 31(2019) 年 1 月 22 日～23 日

会場：穂別博物館

内容：NHK「ダーウィンが来た！」のための博物館地震被害記録

対応：櫻井館長・西村学芸員

(3)NHK 筋肉体操北海道版収録対応

日時：平成 31(2019) 年 2 月 6 日

会場：常設展示室

内容：「筋肉体操北海道版」収録（2/25 放送）

(4) 北海道映像記録株式会社(むかわ竜 PR 映像の作成)

①日時：平成 31(2019) 年 2 月 26 日

会場：穂別博物館

内容：堀田良幸氏・櫻井館長の撮影

②日時：平成 31(2019) 年 3 月 16 日

会場：穂別博物館

内容：佐藤たまき准教授・櫻井館長の撮影

(5) その他新聞取材など

随時対応



にっぽん恐竜協議会（丹波市小学生）「竜学」（18.11.11）



北海道化石フェスト 2019（19.1.13）

Ⅲ 団体等の利用

Ⅲ - 1 町内団体等の利用

【町内学校・教育関係団体】

平成 30(2018)年 5月

17日 さくら認定子ども園 (大8・幼児38)

24日 むかわ町教育研究会 総合(総合的な学習の時間) 展示案内・レプリカづくり (大4)

平成 30(2018)年 6月

5-7日 穂別高校2年インターンシップ (小2)

15日 鷓川高校1年「むかわ学(講演)」(小54)

21日 鷓川高校1年「むかわ学(見学・化石採集)」
学習用地 (大4・小54)

22日 鷓川中学校1年「むかわ学(講演)」(小45)

27日 穂別小学校4年生「化石学習」(展示見学)
(大2・小9)

平成 30(2018)年 7月

3日 穂別小4年「化石学習②」(化石クリーニングとレプリカづくり) (大2・小9)

13日 鷓川中学校1年「むかわ学(見学・化石採集)」
学習用地 (大5・小45)

19日 穂別小4年「化石学習③」(化石採集) 学習用地 (大1・小8)

平成 30(2018)年 9月

5日 穂別高校1年「化石学習」(バス見学会) 博物館・学習用地 (大2・小23)

平成 30(2018)年 10月

23日 小中高ふるさとキャリア教育連携事業(事前学習) (大5・小39)

31日 小中高ふるさとキャリア教育連携事業(リハーサル) (大5・小39)

平成 30(2018)年 11月

2日 小中高ふるさとキャリア教育連携事業(展示見学・レプリカアクセサリーづくり) (大11・小64)

平成 31(2019)年 1月



鷓川高校1年「むかわ学」(化石採集) (18.6.21)



鷓川中学校1年「むかわ学」(化石採集) (18.7.13)



穂別小学校4年「化石学習」(化石クリーニング) (18.7.3)



穂別高校1年「化石学習」(展示見学) (18.9.5)

- 31日 宮戸小3・4年生（化石の話・レプリカづくり）（大1・小7）
 平成31(2019)年2月
 20日 鵜川中央小4年生（展示見学）（大2・小33）
 22日 さくら認定子ども園（大3・幼9）

【町内各種団体】

- 平成30(2018)年4月
 10日 むかわ町役場初任者研修（大10）

Ⅲ - 2 町外団体の利用

【町外団体の利用】

- 平成30(2018)年4月
 15日 千歳北陽高校（大6・小112）
 17日 千歳北陽高校（大5・小109）
 平成30(2018)年5月
 2日 クラブツーリズム北海道旅行センター（大34）
 3日 クラブツーリズム北海道旅行センター（大44・小2）
 4日 クラブツーリズム北海道旅行センター（大45・小1）
 月5日 クラブツーリズム北海道旅行センター（大37・小8）
 6日 クラブツーリズム北海道旅行センター（大39・小7）
 10日 クラブツーリズム北海道旅行センター（大41）
 12日 クラブツーリズム北海道旅行センター（大25）
 15日 安平町遠浅保健推進会（大15）

- 17日 むかわ東京会（展示案内）（大5）
 19日 新冠町郷土資料館（展示案内）（大20・小15）
 平成30(2018)年6月
 3日 日本生物教育会（発掘現場見学・化石採集・講演・展示見学）（大27・小1）
 19日 ココトマふれんずin穂別（展示見学）（大22）
 22日 柳寿会（大24）
 平成30(2018)年7月
 1日 札幌新琴似第二通二番町内会（大35・小3）
 5日 北広島市青葉会（大20）
 5日 新川老人クラブ（大12）
 6日 俳句の会 河（大11）
 8日 JTB町民向けモニターツアー（大17・小10）
 18日 佐倉老人クラブ（大19）
 25日 JTBモニターツアー（北海道胆振総合振興局）（大13）
 26日 JTBツアー（大9・小8）
 26日 JA新得町フレッシュよつば会（大10・小3）
 27日 JTBツアー（大10・小5）
 28日 わくわくの杜（大3・小53）
 28日 クラブツーリズム北海道旅行センター（大18）
 29日 新道栄町内会（大14・小11）
 平成30(2018)年8月
 1日 富良野緑峰高校写真部（大2・小8）
 2日 JTBツアー（大14・小8）
 3日 JTBツアー（大18・小12）
 4日 ひよこ父母の会（大20・小1）
 6日 セントラルスポーツ（大15・小89）
 7日 札幌大学（大21）



宮戸小学校3・4年出前授業（レプリカづくり）（19.1.31）



鵜川中央小学校4年（展示見学）（19.2.20）

- 9日 JTB ツアー (大19・小14)
- 9日 虹の扉 (大4・小9)
- 10日 JTB ツアー (大21・小15)
- 24日 千歳長都長寿会 (大22)
- 26日 新ひだか町博物館 (大28・小1)
- 31日 厚窓会 (大20)
- 平成30(2018)年9月
- 18日 災害支援 (兵庫県丹波市・兵庫県篠山市) (大5)
- 30日 災害支援 (秋田県横手市・宮城県気仙沼市) (大3)
- 平成30(2018)年10月
- 4日 災害支援 (宮城県庁) (大2)
- 4日 災害支援 (置戸町) (大3)
- 27日 スキップ (大2・小8)
- 平成30(2018)年11月
- 1日 災害支援 (長万部町) (大4)
- 14日 災害支援 (釧路市) (大5)
- 13日 水戸啓明高校 (大3・小20)
- 16日 災害支援 (釧路市・釧路町・鶴居村) (大5)
- 29日 災害支援 (新得町・清水町・芽室町) (大5)
- 平成30(2018)年12月
- 8日 シービーツアーズ (WAKUWAKU 協議会) (大22)
- 平成31(2019)年3月
- 30日 株式会社道新サービスセンター (大41)
- 10日 丹波市教育委員会教育長ほか (展示案内) (大2)
- 31日 室蘭開発建設部地域振興対策室長ほか (大3)
- 平成30(2018)年9月
- 4日 北海道大学総合博物館ボランティア (大12)
- 平成30(2018)年10月
- 2日 むかわ町穂別博物館協力会 (大2)
- 3日 北海道知事高橋はるみほか (大38)
- 12日 経済同友会 (大9)
- 17日 丹波市長ほか (大5)
- 19日 北海道大学総合博物館ボランティア (大1)
- 23日 漫画家吉崎観音ほか (大9)
- 23日 北海道副知事辻泰弘ほか (大10)
- 25日 サイエンスライター土屋健ほか (大5)
- 平成30(2018)年11月
- 11日 恐竜CG作家服部雅人氏ほか (大4)
- 15日 恐竜博2019NHK担当者ほか (大16)
- 平成31(2019)年2月
- 13日 むかわ町議会特別委員会 (議員10、引率4)
- 平成31(2019)年3月
- 2日 経済産業大臣政務官滝波宏文氏ほか (大5、引率・来賓8)

Ⅲ - 3 その他

【視察】

- 平成30(2018)年4月
- 5日 北海道教育委員会 (柴田委員長ほか) (大9)
- 20日 埼玉県所沢市市議会 (大7)
- 平成30(2018)年5月
- 9日 北海道胆振総合振興局長ほか (大9)
- 25日 北海道胆振総合振興局産業振興部林務課 (大3)
- 28日 JTB 北海道 (大4)
- 平成30(2018)年6月
- 6日 北海道庁地域政策部地域政策課視察 (大6)
- 平成30(2018)年7月
- 2日 北海道運輸局室蘭運輸支局長ほか (大5)
- 8日 地域総合整備財団 (ふるさと財団) (大4)
- 25日 北海道庁職員 (大15)
- 平成30(2018)年8月
- 9日 丹波市教育委員会教育長ほか (むかわ竜発掘現場見学) (大2)

I 博物館広報活動

【ホッピーだより (博物館広報紙)】

A 4 版両面。博物館からのお知らせ、行事予定を掲載。ホームページで公開し、町内の公共施設や学校等へ配布。

401 号<平成 30(2018)年 4 月 1 日>「研究報告第 33 号の内容紹介 北海道から 2 & 3 例目のプラビトセラス・日高地域からカンパニアン中期のアンモナイト群の発見 / 日本で 3 例目のポリコティルス類 (首の短い首長竜) / 恐竜デー (GW イベント告知) / 中村記念館開館」

402 号<平成 30(2018)年 5 月 1 日>「2017 年度の寄贈資料 / むかわ町天然記念物紹介 モササウルス・プリズマティクス (むかわ町文化財第 9 号)」

403 号<平成 30(2018)年 6 月 1 日>「2017 年度の寄贈資料 伊豆倉正隆氏 (札幌市) コレクション / むかわ町天然記念物紹介 ケントリオドン・ホベツ (むかわ町文化財第 10 号)」

404 号<平成 30(2018)年 7 月 1 日>「パズルラリーを設置 パズルで遊びながら、化石・古生物を学べる! / 恐竜デー 2018 夏 (告知) / 寄贈資料展 2018 (告知) / 恐竜デー 2018 夏 予告・寄贈資料展 2018 予告

405 号<平成 30(2018)年 8 月 1 日>「寄贈資料展 2018 紹介 / 発掘体験ツアー 2018 (告知)」

406 号<平成 30(2018)年 9 月 1 日>「展示資料アンモナイト 2 点の盗難と発見について / 博物館収蔵資料の紹介 16 女神のように美しいアンモナイト むかわ町穂別産のゴードリセラス・イズミエンゼ」

407 号<平成 30(2018)年 10 月 1 日>「北海道胆振東部地震 (むかわ町穂別で震度 6 強) で被害・臨時休館」

408 号<平成 30(2018)年 11 月 1 日>「むかわ竜のクリーニング終了 / むかわ竜全身骨格完全版大公開 2018」

409 号<平成 30(2018)年 12 月 1 日>「ハドロキッズチーム (むかわ町子ども化石くらぶ) 初年度の活動報告 / インドから来た!? アンモナイト ネオフィロセラス・ネラ *Neophylloceras nera*」

410 号<平成 31(2019)年 1 月 1 日>「『むかわ町穂別の古生物化石群』が北海道遺産に登録・北海道大学総合博物館古生物学研究分室が穂別博物館に設置 / 2018 年の調査・研究での来館者」

411 号<平成 31(2019)年 2 月 1 日> 2018 年の教育・

「2018 年の教育・普及活動 (外部協力) / むかわ町子ども化石くらぶ『ハドロキッズチーム』会員募集」

412 号<平成 31(2019)年 3 月 1 日>「むかわ竜 (むかわ町穂別産) 産出部位報告・常設展示アンモナイト追加 / 研究報告第 34 号の内容紹介

【博物館ホームページ】

ホッピーだよりなど随時更新した。

アドレス <http://www.town.mukawa.lg.jp/1908.htm>

【むかわ町穂別博物館ブログ】

行事予定など随時更新した。

アドレス <http://pomu.town.mukawa.lg.jp/module/1550.htm>

#moduleid1550 (むかわ町ポータルサイト POMU 内)

【プレスリリース】

平成 30(2018)年 9 月 5 日「むかわ町穂別産“むかわ竜”の全体像が明らかに～骨化石を岩から取り出すクリーニング作業が終了～」(北海道大学 小林快次准教授と協同で発行)

II 報道関係

【恐竜むかわ竜 (むかわ町穂別産) 関連】

※以下に記した以外にもインターネットで多数配信された

(1) むかわ竜報道会見

日時：平成 30(2018)年 9 月 4 日 10:00-11:00

会場：旧仁和小学校体育館 (むかわ町穂別仁和)

説明者：小林准教授 (北大博)、竹中町長、櫻井館長、西村学芸員 (むかわ町)、堀田氏参加 (骨化石展示等：穂別博物館・北大博化石ボランティア)

<新聞>

※下記のほか、共同通信社・時事通信社配信の記事などを元に、インターネットで多数報道。

(2) むかわ竜全般

<テレビ>

(1) 平成 30(2018)年 4 月 14 日 19:56 ~ 20:54 ST V 系列 (全国放送) 「世界一受けたい授業」(小林快次准教授出演・むかわ竜紹介) <取材協力・写真提供、櫻井学芸員・下山学芸員補助員 VTR 出演>

- (2) 平成 30(2018) 年 8 月 29 日 (9/24 再放送) BS プレミアム 「これが恐竜王国ニッポンだ！」(むかわ竜全身骨格公開協力(博物館職員)、取材協力(櫻井館長、西村学芸員)、アンモナイト CG 監修【西村学芸員】協力) 放送
- (3) 平成 30(2018) 年 12 月 23 日 テレビ東京「日本のお宝ぜんぶ掘る大作戦」(むかわ竜の紹介)
- (4) 平成 31(2019) 年 3 月 10 日ほか、再放送複数回(16 日・18 日・20 日・22 日) NHK BS8K 「8K で完全再現! これが恐竜王国ニッポンだ！」(むかわ竜の紹介)
- 〈新聞〉
- (1) 平成 30(2018) 年 7 月 9 日 苫小牧民報／第 2 面／「むかわ竜の魅力知って 最新パンフ完成」
- (2) 平成 30(2018) 年 7 月 25 日 北海道新聞／朝／第 16 面(地域の話)／「むかわ竜両陛下に紹介へ 町民から喜びの声」
- (3) 平成 30(2018) 年 7 月 25 日 北海道新聞／朝／第 28 面(第 3 社会)／「両陛下『むかわ竜』見学へ」
- (4) 平成 30(2018) 年 8 月 6 日 苫小牧民報／第 1 面／「両陛下 むかわ竜観賞」
- (5) 平成 30(2018) 年 8 月 6 日 北海道新聞／朝／第 28 面(第 2 社会)／「両陛下 むかわ竜を観賞」
- (6) 平成 30(2018) 年 8 月 9 日 北海道新聞／朝／第 15 面(地域の話)／「むかわ竜 通称変えず」
- (7) 平成 30(2018) 年 8 月 9 日 北海道新聞／朝／第 26 面(第 3 社会)／「『むかわ竜』に町外から異議」
- (8) 平成 30(2018) 年 8 月 17 日 北海道新聞／朝／第 17 面(地域の話)／「むかわ竜効果 穂別博物館盛況」
- (9) 平成 30(2018) 年 8 月 19 日 北海道新聞／朝／第 3 面(総合)／「『むかわ竜』巡り対立」
- (10) 平成 30(2018) 年 9 月 5 日 室蘭民報／「『むかわ竜』国内最大 8 メートルの全身骨格を公開」
- (11) 平成 30(2018) 年 9 月 5 日 朝日新聞／朝／第 25 面(社会)「全長 8 メートルむかわ竜 全容くつきり」
- (12) 平成 30(2018) 年 9 月 5 日 苫小牧民報／第 1 面／「むかわ竜 骨格の全体像明らかに」
- (13) 平成 30(2018) 年 9 月 5 日 北海道新聞／朝／第 17 面(地域の話)／「むかわ竜 骨格判明 8 割 関係者喜び」
- (14) 平成 30(2018) 年 9 月 5 日 北海道新聞／朝／第 31 面(第 1 社会)／「むかわ竜 全身くつきり」
- (15) 平成 30(2018) 年 9 月 5 日 毎日新聞／「国内最大『むかわ竜』は新種か 化石取り出し完了」
- (16) 平成 30(2018) 年 9 月 5 日 毎日新聞／朝／第 23 面(総合・社会)「『むかわ竜』新種の可能性大」
- (17) 平成 30(2018) 年 9 月 6 日 毎日小学生新聞／「むかわ竜 新種の可能性大」
- (18) 平成 30(2018) 年 9 月 17 日 毎日新聞／「<北海道地震>国内最大『むかわ竜』に被害なし」
- (19) 平成 30(2018) 年 9 月 22 日 朝日新聞／夕／第 8 面(社会)／「むかわ竜化石 地震に耐えた」
- (20) 平成 30(2018) 年 9 月 28 日 北海道新聞／朝／第 16 面(地域の話)／「全身骨格被害なし 小林快次准教授が確認」「むかわ竜再出発 レプリカ製作遅れなし」
- (21) 平成 30(2018) 年 9 月 28 日 朝日新聞／朝／第 29 面(道内)／「化石の無事確認」
- (22) 平成 30(2018) 年 10 月 1 日 北海道新聞／朝／第 28 面(第 3 社会)「むかわ竜無事でした 穂別博物館再開」
- (23) 平成 30(2018) 年 10 月 1 日 毎日新聞／朝／第 26 面(社会)「『むかわ竜』お待たせ 穂別博物館再開」



むかわ竜報道会見 (18.9.4)



むかわ竜全身骨格化石

- (24) 平成 30(2018) 年 10 月 15 日 東京新聞／朝／第 24 面・第 25 面 (特報)「難を逃れた国内最大級恐竜化石 むかわ竜を見にきて」
- (25) 平成 30(2018) 年 10 月 16 日 中日新聞／朝／第 11 面 (特報)「むかわ竜復興の背骨に 国内最大級来月公開へ」
- (26) 平成 30(2018) 年 10 月 22 日 北海道新聞／朝／第 29 面 (第 1 社会)「むかわ竜復興後押し 来月、3 日間無料公開」
- (27) 平成 30(2018) 年 10 月 24 日 苫小牧民報／第 2 面「今月予定も地震で延期 来月『むかわ竜』を一般公開」
- (28) 平成 30(2018) 年 10 月 26 日 北海道新聞／朝／第 16 面 (地域の話)「『むかわ竜』生かしまちづくり」
- (29) 平成 30(2018) 年 11 月 11 日 北海道新聞／朝／第 18 面 (地域の話)／「むかわ竜復興の象徴に 小林准教授、講演で強調」
- (30) 平成 30(2018) 年 11 月 12 日 苫小牧民報／第 1 面／「『むかわ竜』公開に 1200 人 穂別町民センター 17、18 日も開催」
- (31) 平成 30(2018) 年 11 月 12 日 苫小牧民報／第 2 面「むかわ竜を見学 丹波市の小学生 8 人」
- (32) 平成 30(2018) 年 11 月 12 日 北海道新聞／夕／第 11 面「むかわ竜『完全版』復興へ骨を折る 2 度目の一般公開」
- (33) 平成 30(2018) 年 11 月 13 日 北海道新聞／朝／第 19 面 (地域の話)／「むかわ竜見学続々 兵庫の小学生、クリーニング体験」
- (34) 平成 30(2018) 年 11 月 14 日 北海道新聞／夕／第 1 面「今日の話」／「竜の物語」
- (35) 平成 30(2018) 年 11 月 15 日 苫小牧民報／第 2 面／「むかわ竜 17、18 日にも公開」
- (36) 平成 30(2018) 年 12 月 15 日 北海道新聞／朝／第 29 面 (第 4 社会)／「むかわ竜 商標登録完了」
- (37) 平成 30(2018) 年 12 月 18 日 北海道新聞／朝／第 14 面 (地域の話)／「むかわ竜商標 原則無料」
- (38) 平成 31(2019) 年 1 月 1 日 苫小牧民報／「むかわ町穂別の『むかわ竜』まちづくりに貢献」
- (39) 平成 31(2019) 年 1 月 18 日 北海道新聞／朝／第 17 面 (地域の話)／「平成タイムトリップ 10 『むかわ竜』が国内最大の全身骨格と発表」
- (40) 平成 31(2019) 年 1 月 25 日 北海道新聞／朝／第 16 面 (地域の話)／「『復興の力に』地元期待 むかわ竜東京で 7 月公開」
- (41) 平成 31(2019) 年 1 月 25 日 北海道新聞／朝／第 27 面 (第 4 社会)／「むかわ竜『首都上陸』 7 月国立科学博物館」
- <出版物>
- (1) 平成 30(2018) 年 4 月発行／NHK プロフェッショナル仕事の流儀 8 信念をつらぬくプロフェッショナル「若き化石ハンター 太古の謎に挑む」(小林快次)／株式会社ポプラ社
- (2) 平成 30(2018) 年 4 月 19 日発行／小学 8 年生「芦田愛菜の聞かせて先輩! ゲスト恐竜研究者小林快次先生」／小学館
- (3) 平成 30(2018) 年 4 月 23 日発行／太陽の地図帖 035 楽しい日本の恐竜案内／株式会社平凡社
- (4) 平成 30(2018) 年 6 月 20 日発行／HO 2018.8 月号「恐竜の町むかわをのっしのし散歩」／株式会社ぶらんとマガジン社
- (5) 平成 30(2018) 年 7 月 3 日発行／図鑑漢字ドリル 小学 1～6 年生「恐竜」／株式会社学研プラス
- (6) 平成 30(2018) 年 7 月 3 日／「日本で見つかった恐竜の化石」学研の図鑑 LIVE 4 巻 図鑑漢字ドリル小学 1～6 年生 恐竜／学研
- (7) 平成 30(2018) 年 7 月 30 日／ぼくは恐竜探検家!／小林快次准教授 著／株式会社講談社
- (8) 平成 30(2018) 年 9 月 1 日／「むかわ竜が明かす日本の恐竜最盛期」日経サイエンス 201809 号／株式会社日経サイエンス
- (9) 平成 30(2018) 年 10 月 28 日／小学館の図鑑 NEO 新版「恐竜」(第 12 刷)／小学館
- (10) 平成 30(2018) 年 11 月／行幸啓誌／北海道
- (11) 平成 30(2018) 年 11 月 21 日／小学館キッズベディア こども大百科 もっと大図解／小学館
- (12) 平成 30(2018) 年 12 月 4 日／学研の図鑑 [新版] 恐竜の世界 DVD 付／株式会社学研プラス
- (13) 平成 30(2018) 年 12 月 25 日／楽しい調べ学習シリーズ 日本の恐竜大研究／株式会社 PHP 研究所
- (14) 平成 31(2019) 年 2 月 16 日／茨城県自然博物館 第 74 回企画展図録／ミュージアムパーク茨城県自然博物館
- (15) 平成 31(2019) 年 2 月 20 日／恐竜の教科書／小林快次准教授ほか監訳／株式会社創元社
- 【里平産アンモナイト研究】
- <新聞>
- (1) 平成 31(2019) 年 3 月 27 日 北海道新聞／朝／第 19 面 (地域の話)／「日高・新冠町境の里平地域 アンモナイト 37 種発見」
- (2) 平成 31(2019) 年 3 月 27 日 苫小牧民報／第 1 面

／「アンモナイト新種発見 日高、新冠両町境の里平地域」

- (3) 平成 31(2019)年 3月 27日 読売新聞／朝／第 34面 (道総合)／「新種アンモナイト公開 むかわの博物館・きょうから」
- (4) 平成 31(2019)年 3月 29日 北海道新聞／朝／第 29面 (第 4 社会)／「アンモナイト 37 種の化石 日高・新冠の里平地域 新種 3 種も」

【長頸竜ポリコティルス類化石】

<新聞>

- (1) 平成 30(2018)年 4月 4日 毎日新聞／朝／第 26面 (北海道)／「国内 3 例目 首の短い首長竜」
- (2) 平成 30(2018)年 4月 7日 朝日新聞／朝／第 12面 (道内)／「展示化石 実は国内 3 例目」

【博物館・展示資料・化石全般】

<新聞>

- (1) 平成 30(2018)年 4月 29日 北海道新聞／朝／第 17面 (地域の話)／「穂別博物館のお宝化石 ① ハドロサウルス科恐竜」
- (2) 平成 30(2018)年 4月 30日 苫小牧民報／第 19面 (第 1 社会面)／「探訪まちのミュージアム⑤ むかわ町穂別博物館」
- (3) 平成 30(2018)年 4月 30日 北海道新聞／朝／第 13面 (地域の話)／「穂別博物館のお宝化石 ② モササウルス・ホベツエンシス」
- (4) 平成 30(2018)年 5月 1日 北海道新聞／朝／第 15面 (地域の話)／「穂別博物館のお宝化石 ③ ホベツアラキリュウ」
- (5) 平成 30(2018)年 5月 3日 北海道新聞／朝／第 17面 (地域の話)／「穂別博物館のお宝化石 ④ フォスフォロサウルス・ボンペテレガンス」
- (6) 平成 30(2018)年 5月 5日 北海道新聞／朝／第 13面 (地域の話)／「穂別博物館のお宝化石 ⑤ メソダーモケリス・ウンデュラータス」
- (7) 平成 30(2018)年 5月 6日 北海道新聞／朝／第 17面 (地域の話)／「穂別博物館のお宝化石 ⑥ アノマロケリス・アングラータ」
- (8) 平成 30(2018)年 11月 2日 北海道新聞／朝／第 32面 (第 2 社会)／「むかわ竜など北海道遺産 15 件追加 14 年ぶり選定」
- (9) 平成 30(2018)年 11月 2日 苫小牧民報／第 4面 (道内ニュース)／「『北海道遺産』14 年ぶり選定 穂別の古生物化石群など 15 件」
- (10) 平成 30(2018)年 11月 7日 北海道新聞／朝／第 17面 (地域の話)／「古生物化石群、等じゅ

院 北海道遺産に追加」

- (11) 平成 30(2018)年 12月 5日 北海道新聞／朝／第 18面 (地域の話)／「11 月入館者大幅増 むかわ竜効果」
- (12) 平成 31(2019)年 3月 27日 民報 JIMOTO 新聞 Vol.9／第 9面「苫小牧エリア」／「胆振・日高のミュージアムをめぐる旅」

<出版物>

- (1) 平成 30(2018)年 8月 5日／フタバスズキリュウ もうひとつの物語／佐藤たまき准教授 著／株式会社ブックマン社
- (2) 平成 30(2018)年 12月 じゃらん 2019 年 1月号
- (3) 平成 30(2018)年 12月 25日／楽しい調べ学習シリーズ 日本の恐竜大研究／株式会社 PHP 研究所
- (4) 平成 31(2019)年 1月 4日／理系に育てる基礎のキソ 地球のお話 365 日／株式会社技術評論社 (穂別博物館の紹介)
- (5) 平成 31(2019)年 2月／とましん景況レポート No.137／苫小牧信用金庫

<ラジオ>

- (1) 平成 30(2018)年 10月 4日 20:45- J-WAVE「JAM THE WORLD - HEART TO HEART - WE ARE ONE - > (出演：櫻井館長)」
- (2) 平成 30(2018)年 11月 25日 17:00- FMおたる「30 分限定ラジオ観光大使」(パーソナリティーによる紹介)

【博物館普及事業など】

<新聞>

- (1) 平成 30(2018)年 4月 24日 北海道新聞／夕／第 9面 (苫小牧・札幌圏)／「恐竜の生態パズルで」
- (2) 平成 30(2018)年 5月 28日 北海道新聞／朝／第 17面 (地域の話)／「むかわ 化石講座始まる」
- (3) 平成 30(2018)年 5月 29日 苫小牧民報／第 2面／「子ども化石くらぶ開講」
- (4) 平成 30(2018)年 6月 1日 朝日新聞／朝／第 35面 (道内)／「化石クラブ開講 クリーニング挑戦」
- (5) 平成 30(2018)年 6月 23日 道新こども新聞 週刊まなぶん／第 2面／「化石を学ぼう むかわハドロキッズチーム」
- (6) 平成 30(2018)年 7月 10日 朝日新聞／朝／第 34面 (道内)／「化石発掘ツアー 町民 30 人が体験」
- (7) 平成 30(2018)年 7月 11日 苫小牧民報／第 2面／「町民対象、大人も夢中に 化石発掘のラストツアー」

- (8) 平成 30(2018) 年 7 月 11 日 北海道新聞／朝／第 16 面 (地域の話題) / 「むかわ竜ツアー好調」
- (9) 平成 30(2018) 年 7 月 21 日 道新こども新聞週刊まなぶん／第 2 面 / 「化石を学ぼう むかわハドロキッズチーム」
- (10) 平成 30(2018) 年 7 月 28 日 北海道新聞／朝／第 23 面 (地域の話題) / 「恐竜化石 発掘体験できる」
- (11) 平成 30(2018) 年 7 月 28 日 北海道新聞／朝／第 31 面 (第 4 社会) / 「恐竜化石 見て探して楽しもう」
- (12) 平成 30(2018) 年 8 月 6 日 苫小牧民報／第 2 面 / 「パズルで知識深めて 復元化石をイラストに」
- (13) 平成 30(2018) 年 8 月 7 日 苫小牧民報／第 4 面 (道内ニュース) / 「サイエンスフェス大盛況 『むかわ竜』 全身骨格の一部も展示」
- (14) 平成 30(2018) 年 9 月 8 日 道新こども新聞 週刊まなぶん (第 183 号) / 第 1 面 / 「『ハドロキッズ』が町内の工場見学」
- (15) 平成 30(2018) 年 12 月 8 日 道新こども新聞 週刊まなぶん (第 196 号) / 第 1 面 / 「化石の正体みんなで当てた むかわ『ハドロキッズ』半年間調べ発表」

【博物館周辺エリア再整備】

<新聞>

- (1) 平成 30(2018) 年 4 月 4 日 北海道新聞／朝／第 14 面 (地域の話題) / 「化石の展示棟新設へ」
- (2) 平成 30(2018) 年 4 月 19 日 苫小牧民報／第 1 面 / 「穂別博物館を再整備」
- (3) 平成 30(2018) 年 6 月 22 日 北海道新聞／朝／第 19 面 (地域の話題「海風」) / 「再整備に穂別らしさを」

【北海道大学総合博物館との連携】

<新聞>

- (1) 平成 30(2018) 年 5 月 25 日 北海道新聞／朝／第 17 面 (地域の話題) / 「北大総合博物館が分室開設へ」
- (2) 平成 30(2018) 年 5 月 25 日 北海道新聞／朝／第 28 面 (第 2 社会面) / 「北大博物館 穂別に『分室』」
- (3) 平成 30(2018) 年 6 月 1 日 朝日新聞／朝／第 35 面 (道内) / 「北大博物館の分室 むかわ町に設置へ」
- (4) 平成 30(2018) 年 6 月 2 日 苫小牧民報／第 2 面 / 「穂別に古生物学研究分室 町と北大総合博物

館が覚書締結」

- (5) 平成 30(2018) 年 11 月 14 日 北海道新聞／朝／第 29 面 (第 4 社会) / 「古生物研究で連携強化 北大博物館穂別に分室」
- (6) 平成 30(2018) 年 11 月 15 日 苫小牧民報／第 2 面 / 「北大総合博物館 穂別に分室開設」

【アンモナイト化石盗難】

<新聞>

- (1) 平成 30(2018) 年 8 月 4 日 苫小牧民報／第 17 面 (第 1 社会面) / 「アンモナイト化石盗難」
- (2) 平成 30(2018) 年 8 月 4 日 北海道新聞／朝／第 26 面 (第 3 社会) / 「アンモナイト化石盗難 穂別博物館展示室から 2 点」
- (3) 平成 30(2018) 年 8 月 5 日 北海道新聞／朝／第 30 面 (第 3 社会) / 「盗難アンモナイト発見」
- (4) 平成 30(2018) 年 8 月 6 日 苫小牧民報／第 15 面 (第 1 社会面) / 「穂別博物館のアンモナイト盗難 2 点とも敷地内で発見」

【その他】

<新聞>

- (1) 平成 30(2018) 年 5 月 18 日 北海道新聞／朝／第 15 面 (地域の話題) / 「むかわ竜でマチおこし」
- (2) 平成 30(2018) 年 6 月 19 日 北海道新聞／朝／第 16 面 (地域の話題) / 「高校生 恐竜のまち PR」
- (3) 平成 30(2018) 年 7 月 16 日 苫小牧民報／第 2 面 / 「新しい名物に 恐竜たい焼き」
- (4) 平成 30(2018) 年 7 月 18 日 北海道新聞／朝／第 16 面 (地域の話題) / 「この地ならではの恐竜学 ぶ 鶴川中も『むかわ学』導入」
- (5) 平成 30(2018) 年 8 月 1 日 北海道新聞／朝／第 17 面 (地域の話題) / 「恐竜のモニュメントすごい! 穂別の『まつり』にぎわう」
- (6) 平成 30(2018) 年 9 月 1 日 北海道新聞／朝／第 21 面 (地域の話題) / 「新聞丸めて むかわ竜」
- (7) 平成 30(2018) 年 10 月 2 日 苫小牧民報／第 17 面 (第 1 社会面) / 「胆振東部地震から間もなく一カ月 観光業になお影響」
- (8) 平成 30(2018) 年 10 月 4 日 北海道新聞／朝／第 17 面 (地域の話題) / 「『復旧、復興は長期間』知事に支援訴え」
- (9) 平成 30(2018) 年 10 月 7 日 北海道新聞／朝／第 10 面 (ほん) / 「女性古生物学者の青春記」フタバスズキリュウもうひとつの物語 (佐藤たまき)

<テレビ>

(1) 平成 31(2019)年 2 月 25 日 NHK「筋肉体操北海道版」(常設展示室にて収録)



NHK「筋肉体操北海道版」収録(19.2.25)

I 登録資料等

【博物館登録資料数】

自然史系登録資料 (HMG) <地質・化石資料> : 1,683 点
自然系登録資料 (HMB) <現生動植物資料> : 167 点
人文系登録資料 (HMC) <民俗・歴史資料> : 3,761 点
計 5,611 点 (2019.3.31. 現在)

【タイプ等】

HMG-12 : *Mosasaurus hobetsuensis* Suzuki, 1985 のホロタイプ (新種)
HMG-387 : *Kentriodon hobetsu* Ichishima, 1994 のホロタイプ (新種)
HMG-5 : *Mesodermochelys undulatus* Hirayama and Chitoku, 1996 のホロタイプ (新属新種)
HMG-1065 : *Mosasaurus prismaticus* Sakurai et al., 1999 のホロタイプ (新種)
HMG-1056 : *Anomalochelys angulata* Hirayama et al., 2001 のホロタイプ (新属新種)
HMG-1573 : *Gaudryceras hobetsense* Shigeta and Nishimura, 2013 のホロタイプ (新種)
(パラタイプ : HMG-134、HMG-1592)
HMG- 1587a,b,c,d : *Phylloptychoceras horitai* Shigeta and Nishimura, 2013 のホロタイプ・パラタイプ (新種)
HMG-136 : *Anagaudryceras compressum* Shigeta and Nishimura, 2014 のホロタイプ (新種)
(パラタイプ : HMG-1594、HMG-1595、HMG-1596、HMG-1597、HMG-1626)
HMG-1528 : *Phosphorosaurus ponpetelegans* Konishi et al. のホロタイプ (新種)
HMG-1660 : *Didymoceras hidakense* Shigeta, 2016 のホロタイプ (新種)
(パラタイプ : HMG-1661、HMG-1662、HMG-1663、HMG-1664、HMG-1665、HMG-1666)
HMG-1848 : *Neophylloceras nodsum* Shigeta, 2019 のホロタイプ (新種)
HMG-1913 : *Menuites armatus* Shigeta, 2019 のホロタイプ (新種)
HMG-1955 : *Parasolenoceras ribiraense* Shigeta, 2019 のホロタイプ (新種)
(パラタイプ : HMG-1956, 1957)

【町指定文化財】

むかわ町指定文化財登録番号第 4 号 フォスフォロサウルス・ポンペテレガンス (平成 29 年 4 月 1 日指定)
むかわ町指定文化財登録番号第 5 号 モササウルス・ホベツエンシス (平成 29 年 4 月 1 日指定)
むかわ町指定文化財登録番号第 6 号 メソダーモケリス・ウンデュラータス (平成 29 年 4 月 1 日指定)
むかわ町指定文化財登録番号第 7 号 アノマロケリス・アングラータ (平成 29 年 4 月 1 日指定)
むかわ町指定文化財登録番号第 8 号 ティロサウルス (種未定) (平成 29 年 4 月 1 日指定)
むかわ町指定文化財登録番号第 9 号 モササウルス・プリズマティクス (平成 29 年 4 月 1 日指定)
むかわ町指定文化財登録番号第 10 号 ケントリオドン・ホベツ (平成 29 年 4 月 1 日指定)

【北海道指定文化財】

北海道指定文化財 (登録番号第 34 号) : ホベツアラキリュウ化石骨 (HMG-1) (平成 29 年 9 月 29 日指定)

【北海道遺産】

北海道遺産 (登録番号第 63 号) : 「むかわ町穂別の古生物化石群」 (平成 30 年 11 月 1 日認定)

II 新規受入資料 (寄贈)

受入番号：寄贈資料 (点数) / 寄贈者名 / 受入日 (敬称略)

【自然史系資料 (HMG)】(化石・地質) (18 件・837 点)

2018-001: アンモナイトほか含有ノジュール (150 点)

／堀田良幸 (むかわ町穂別) / 2018 年 4 月 24 日

2018-003: 白亜紀脊椎動物化石 (ウミガメ?) (1 点) / 西村智弘 (むかわ町穂別) ほか / 2018 年 5 月 18 日

2018-004: 白亜紀脊椎動物化石 (ウミガメ?) (1 点) / 西村智弘 / 2018 年 5 月 14 日

2018-005: アンモナイトほか含有ノジュール (238 点) / 中村絵理子 (むかわ町穂別) / 2018 年 5 月 26 日

2018-006: アンモナイト (75 点) / 伊豆倉正隆 (札幌市) / 2017 年 11 月 23 日

2018-007: アンモナイト *Mariella* sp. (1 点) 河野忠男 (札幌市) / 2018 年 6 月 6 日

2018-008: アンモナイト *Pachydesmoceras?* (1 点) / 林敬晴 (苫小牧市) / 2018 年 6 月 7 日

2018-009: 新生代脊椎動物化石 (クジラ?) (1 点) / 佐藤豊 (むかわ町穂別) / 2018 年 6 月 10 日

2018-010: アンモナイト *Eupachydiscus* sp. (1 点) / 西村智弘 / 2018 年 7 月 10 日

2018-011: アンモナイト *Eupachydiscus haradai* (1 点) / 西村智弘 / 2018 年 7 月 10 日

2018-012: アンモナイト *Eupachydiscus* sp. (1 点) / 西村智弘 / 2018 年 7 月 10 日

2018-013: アンモナイト *Eupachydiscus teshioensis* (1 点) / 十津守宏 (四日市市) / 2018 年 7 月 11 日

2018-014: アンモナイト *Anisoceras* sp. (1 点) / 堀田良幸 / 2018 年 7 月 26 日

2018-015: アンモナイト *Eupachydiscus* sp. (1 点)・アオトラ石 (1 点)・大理石 (1 点) / 山岡利汎 (むかわ町穂別) / 2018 年 8 月 18 日

2018-016: アンモナイト (1 点)・笠型巻貝 (1 点)・二枚貝 *Nanonavis* sp. (1 点) / 有限会社ササキ産業 (むかわ町穂別) / 2018 年 10 月 10 日

2018-017: アンモナイトほか化石 (212 点)・タガネ等 (139 点) / 高橋博志 (むかわ町穂別) / 2018 年 10 月 2 日

2018-018: アンモナイト *Takahashiceras* sp. (1 点) / 林敬晴 / 2018 年 11 月 11 日

2018-019: アンモナイト (3 点) / 窪田英・勝子 (札幌市) / 2019 年 2 月 5 日

2018-019-001: *Sharpeiceras* sp.

2018-019-002: *Pachydesmoceras pachydiscoide*

2018-019-003: *Yubariceras yubarensis*



むかわ竜全身復元骨格レプリカ製作



ホベツアラキリュウ全身復元骨格一部修正



フォスフォロサウルス全身復元骨格製作

【その他】(1件・1点)

アクリル板寄贈:博物館協力会より、特別展示用(2018年6月)

Ⅲ 新規登録資料

登録番号:資料名/受入番号/寄贈(採集)者名(敬称略)
なし

Ⅳ 展示資料の製作

- (1) むかわ竜全身復元骨格レプリカ製作:ゴビサポートジャパン委託・小林快次准教授(北海道大学総合博物館)監修(平成29年度~平成31年3月20日)
- (2) ホベツアラキリュウ全身復元骨格(貸出用)一部修正:ゴビサポートジャパン委託・佐藤たまき准教授(東京学芸大学)監修(平成30年10月1日~平成31年3月20日)
- (3) フォスフォロサウルス全身復元骨格製作:足寄動物化石博物館委託・小西卓哉教育助教(アメリカ・シンシナティ大学)監修(平成30年10月1日~平成31年3月20日)

Ⅴ 収蔵資料の活用(研究)

【貸出(研究)】

[自然史系資料(HMG)](6件・16点)

- (1) HMG-366、HMG-367、HMG-1053、HMG-1054、HMG-1055(ウミガメ化石5点):平山廉(早稲田大学) <平成6(1994)年8月17日-平成31(2019)年3月31日>
- (2) HMG-1063、HMG-1064(ウミガメ化石2点):平山廉(早稲田大学) <平成7(1995)年5月11日-平成31(2019)年3月31日>
- (3) HMG-1443、HMG-1444(カサガイ付きアンモナイト2点):加瀬友喜(国立科学博物館) <平成21(2009)年7月9日-平成31(2019)年3月31日>
- (4) HMG-0399(アンモナイト1点):前田晴良(京都大学) <平成23(2011)年10月17日-平成28(2016)年3月31日>
- (5) アンモナイト(2016-002、2016-003、2016-005、2016-007、2016-008)計5点:前田晴良(九州大学総合研究博物館) <平成29(2017)年11月1日~平成31(2019)年10月31日>

(6) HMG-0357(長頸竜化石1点):佐藤たまき(東京学芸大学) <平成23(2011)年11月25日-平成28(2016)年3月31日>

(7) アンモナイト HMG-0041 *Baculites rex* (1点):重田康成(国立科学博物館) <平成30(2018)年7月10日~平成31(2019)年7月10日>

(8) アンモナイト *Takahashiceras* 第四標本(1点):重田康成(国立科学博物館) <平成30(2018)年12月12日~平成31(2019)年12月11日>

Ⅵ 収蔵資料の活用(研究以外)

【貸出(展示)】

[自然史系資料(HMG)](1件・4点)

- (1) むかわ竜実物化石(胴椎1点、肋骨1点、歯2点)計4点:仙台市科学館(特別展「恐竜最前線」) <平成30(2018)年7月20日~8月28日>

【貸出(普及教育)】(3件・216点)

- (1) ハンマー15点、ゴーグル10点、砂袋10点:むかわ町恐竜ワールドセンター(有珠山SAでのむかわ町PR活動) <平成30(2018)年6月15日~19日>
- (2) テンバコ10個:恐竜ワールド戦略室(ハドロキッズチーム宿泊学習にて使用) <平成30(2018)年7月30日・31日>
- (3) ゴーグル(大人用)20個、ゴーグル(子ども用)15個、ハンマー(化石発掘体験用)25本、ハンマー(クリーニング体験用)25本、タガネ25本、ピック25本、ヘルメット(子ども用)15個、砂袋20袋、ポリタンク1個:むかわ町恐竜ワールドセンター(JTB「MUKAWA ダイナソー・アドベンチャー」) <平成30(2018)年7月26日・27日、8月2日・3日、8月9日・10日>

【写真等提供(展示・出版・報道等)】(40件・72点)

- (1) むかわ竜全身化石写真(1点):NEXCO 東日本北海道支社(北海道命名150年記念「北海道スマホスタンプラリー」) <平成30(2018)年6月16日~11月5日(第二期)>
- (2) むかわ竜発掘現場写真(1点):株式会社学研プラス(「図鑑漢字ドリル 小学1~6年生 恐竜」) <平成30(2018)年6月19日>
- (3) 博物館外観写真、ホベツアラキリュウ全身復元骨格写真、モササウルス類生体復元模型写真(計3点):石狩川振興財団(ホームページ「かわたび ほっか

- いどう)」＜平成 30(2018)年 7 月 2 日公開＞
- (4) むかわ竜全身化石写真、むかわ竜発掘現場写真（計 2 点）：TBS（BS-TBS「諸説あり！」第 50 回「恐竜絶滅編」）＜平成 30(2018)年 7 月 7 日放送＞
- (5) 博物館外観写真（1 点）：JTB（株式会社学研ホームページ「学研キッズネット」）＜平成 30(2018)年 7 月上旬公開＞
- (6) むかわ竜全身骨格写真、むかわ竜発掘現場写真、むかわ竜産出状況図（計 3 点）：仙台市科学館（特別展「恐竜最前線」）＜平成 30(2018)年 7 月 15 日製作＞
- (7) むかわ竜全身化石写真、むかわ竜発掘現場写真、むかわ竜尾椎骨写真（計 3 点）：講談社（「ぼくは恐竜探検家！」）＜平成 30(2018)年 8 月 1 日＞
- (8) むかわ竜全身化石写真、むかわ竜発掘現場写真（計 2 点）：株式会社デザインプラス（進学塾栄光ゼミナール「コンパス・ジュニア 7 月号」）＜平成 30(2018)年 7 月 4 日＞
- (9) むかわ竜全身化石写真（転載）（1 点）：声の教育社（「共栄学園中学校 3 年間スーパー過去問」）＜平成 31(2019)年～3 年間使用＞
- (10) ティラノサウルス「スコッティ」全身復元骨格写真（計 3 点）：北九州市立自然史・歴史博物館（平成 30 年度夏の特別展「へんてこモンスター」展の広報）＜平成 30(2018)年 6 月 19 日＞
- (11) むかわ竜骨格配置写真（計 1 点）：有限会社ノースメディア（NHK 総合「おはよう北海道 土曜プラス ぶらりみてある記」）＜平成 30(2018)年 7 月 14 日放送＞
- (12) むかわ竜写真、ホベツアラキリュウ写真（計 2 点）：株式会社東京ニュース通信社（記事掲載）＜平成 30(2018)年 7 月 24 日＞
- (13) むかわ竜全身骨格写真（1 点）：株式会社共同テレビジョン（フジテレビ系列「皇室ご一家」）＜平成 30(2018)年 8 月 26 日放送＞
- (14) むかわ竜写真（全身骨格、尾椎、発掘状況）（計 3 点）：日経サイエンス（「日経サイエンス」2018 年 9 月号）＜平成 30(2018)年 7 月 25 日製作＞
- (15) ホベツアラキリュウ全身骨格写真（1 点）：株式会社ブックマン社（「フタバズキリュウもうひとつの物語」に掲載）＜平成 30(2018)年 8 月 1 日＞
- (16) むかわ竜骨格配置写真（1 点）：株式会社日テレアックスオン（日本テレビ「皇室日記」）＜平成 30(2018)年 8 月 12 日放送＞
- (17) むかわ竜全身骨格写真（1 点）：株式会社毎日映画社（MBS-TBS 系テレビ番組「皇室アルバム」第 3002 集「天皇皇后両陛下 北海道へ」）＜平成 30(2018)年 9 月 1 日放送＞
- (18) むかわ竜全身骨格、むかわ竜の化石発掘現場、モササウルス・ホベツエンシス胴体部分、アノマロケリス・アングラータ化石、メソダーモケリス・ウンデュラータス全身復元骨格（計 5 点）：株式会社 PHP 研究所児童書局（「日本の恐竜大研究（楽しい調べ学習）」）＜平成 30(2018)年 9 月末＞
- (19) むかわ竜骨格写真、むかわ竜発掘写真（2 点）：小学館（「こども大百科 もっと大図解」）＜平成 30(2018)年 11 月 16 日＞
- (20) むかわ竜全身骨格写真（1 点）：株式会社東京出版（「大学への数学」）＜平成 30(2018)年 11 月 20 日＞
- (21) むかわ竜発掘現場写真（1 点）：朝日新聞（「恐竜博 2019」広報）＜平成 30(2018)年 11 月製作＞
- (22) むかわ竜全身化石写真、ホベツアラキリュウ全身復元骨格写真、メソダーモケリス全身復元骨格写真（3 点）：NHK（NHK 視点・論点）＜平成 30(2018)年 11 月 21 日放送＞
- (23) むかわ町穂別博物館外観写真（1 点）：株式会社メガ・コミュニケーションズ（NEXCO 東日本「北海道スマホスタンプラリー」広告）＜平成 30(2018)年 11 月 23 日＞
- (24) むかわ竜全身骨格写真（1 点）：有限会社アート・エフ（株式会社学書発行「2018 年度 中 3 公立模試」（11～15 回）塾用テキスト）＜平成 30(2018)年 12 月 1 日＞
- (25) むかわ町穂別博物館外観写真（1 点）：レカポラ編集舎（技術評論社「ちきゅうのお話 365 日」）＜平成 30(2018)年 12 月＞
- (26) むかわ竜全身化石写真（1 点）：胆振東部消防組合消防本部（大規模石油備蓄基地所在消防本部連絡協議会会報誌「せきちく」）＜平成 30(2018)年 12 月＞
- (27) むかわ竜発掘現場写真（1 点）：朝日新聞東京本社文化事業部（「恐竜博 2019」広報物）＜平成 30(2018)年 11 月＞
- (28) 穂別博物館入口ホール展示写真（1 点）：株式会社じゃらん（「北海道じゃらん 1 月号」）＜平成 30(2018)年 12 月＞
- (29) むかわ竜全身化石写真（1 点）：株式会社 hu（テレビ東京「日本のお宝ぜんぶ掘る大作戦」）＜平成 30(2018)年 12 月 23 日放送＞
- (30) むかわ竜全身化石写真、ホベツアラキリュウ復元骨格写真（計 2 点）：株式会社ハユマ（株式会社 PHP 研究所「日本の古生物学大研究」）＜平成 31(2019)年 2 月 1 日＞

- (31) モササウルス類生体復元模型写真（1点）：株式会社八重洲出版（AUTO CAMPER 4月号）＜平成31(2019)年3月15日＞
- (32) むかわ竜発掘現場写真（3点）：北海道リレーション株式会社（webサイト「北海道ファンマガジン」「北洋銀行アプリ」）＜平成31(2019)年4月公開＞
- (33) むかわ竜全身化石写真、ホベツアラキリュウ全身復元骨格写真、モササウルス類生体復元模型写真（3点）：株式会社JTBパブリッシング（「ニッポンを解剖する！ 北海道図鑑」）＜平成31(2019)年4月5日＞
- (34) 穂別博物館外観写真、ホベツアラキリュウ全身復元骨格写真、むかわ竜全身骨格写真（2017年4月撮影）、むかわ竜全身骨格写真（2018年9月撮影）（4点）：一般社団法人 北海道地質調査業協会（一般社団法人全国地質調査業協会連合会協会誌「地質と調査」の「各地の博物館巡り」）＜平成31(2019)年4月20日＞
- (35) むかわ竜尾椎骨写真、穂別博物館外観写真（2点）：株式会社メガ・コミュニケーションズ（NEXCO東日本発行「北海道ドライブガイド」）＜平成31(2019)年春＞
- (36) むかわ竜発掘現場写真（1点）：株式会社誠文堂新光社（「はじめての恐竜絵本 恐竜大行進A to Z」）＜平成31(2019)年6月17日＞
- (37) むかわ竜尾椎骨写真（1点）：新潮社「新潮新書」（小林快次著書）＜平成31(2019)年6月＞
- (38) むかわ竜全身化石写真、ホベツアラキリュウ全身復元骨格写真、フォスフォロサウルス・ポンペテレガンス頭骨写真、メソダーモケリス・ウンデュラータス全身復元骨格写真（4点）：株式会社スタジオタッククリエイティブ（『THE ROCK & GEM BOOK』日本語翻訳版）＜平成31(2019)年2019年10月5日＞

- (39) むかわ竜全身化石写真（1点）：学校図書株式会社（「中学校科学1」）＜2021年4月＞
- (40) むかわ竜全身化石写真（1点）：株式会社新興出版社啓林館（「中学校科学1」）＜2021年4月＞

Ⅶ 北海道遺産への登録

「北海道遺産」とは、有形・無形のさまざまな遺産を、多様な人々が共有する仕組みをつくることで、北海道の「宝物」を次世代に継承することを目的としており、平成9（1997）年に構想が始まり、平成13（2001）年に第1回分、平成16（2004）年に第2回分が選定されている。運営主体はNPO法人北海道遺産協議会。今回、第3回分が選定され、当町より申請した「むかわ町穂別の古生物化石群」が北海道遺産に認定された（登録番号第63号）。選定証授与式は平成30年11月1日に執り行われた。

Ⅷ 事件・事故等

常設展示資料の盗難事件。宗谷丘陵産アンモナイト2点（HMG-1720, 1747）が常設展示室に設置されていた鍵付きガラスケースから盗難された。

＜経緯＞

平成30(2018)年7月

30日 盗難が発覚

平成30(2018)年8月

1日 苫小牧警察署に被害届を提出

3日 穂別博物館ブログで公表

4日 北海道新聞で記事掲載

4日まで 博物館敷地内（屋外）で2点とも発見



北海道遺産選定証授与式（18.11.1）



北海道遺産「むかわ町穂別の古生物化石群」選定証

I 調査研究活動

【野外調査活動】

平成 30 (2018) 年 5 月

- 14 日 西村学芸員：野外地質調査
- 16 日 西村学芸員：野外地質調査
- 19 日 西村学芸員、中村（正）学芸補助員、本間学芸補助員、片山学芸補助員、中村（博）業務主任、栗原健一ボランティア、太田晶（北海道大学）：パンケルサノ沢（骨化石採集）
- 19 日 西村学芸員：太田晶（北海道大学大学院）に同行
- 23 日 西村学芸員、中村（正）学芸補助員、本間学芸補助員、片山学芸補助員
- 23 日 西村学芸員：野外地質調査
- 24 日 西村学芸員：野外地質調査
- 26 日 西村学芸員：野外地質調査
- 30 日 西村学芸員：野外地質調査

平成 30 (2018) 年 6 月

- 1 日 西村学芸員：野外地質調査
- 5 日 西村学芸員：野外地質調査
- 6 日 西村学芸員：野外地質調査
- 7 日 西村学芸員、中村（正）学芸補助員、本間学芸補助員、片山学芸補助員、中村（博）業務主任、栗原ボランティア、村上ボランティア：穂別ダム北（大型アンモナイト採集）（発見・寄贈：林敬晴氏）
- 7 日 西村学芸員：野外地質調査
- 15 日 西村学芸員：野外地質調査
- 20 日 西村学芸員：野外地質調査

平成 30 (2018) 年 8 月

- 1 日 西村学芸員：石原大亮（京都大学大学院）に同行

18 日 西村学芸員：現生河川海岸調査

平成 30 (2018) 年 10 月

- 10 日 西村学芸員：野外地質調査
- 13 日 西村学芸員：現生河川海岸調査
- 26 日 西村学芸員：野外地質調査

平成 31 (2019) 年 2 月

20 日 西村学芸員：現生河川海岸調査

平成 31 (2019) 年 3 月

28 日 西村学芸員：現生河川海岸調査

【むかわ竜の研究】

平成 30 (2018) 年 3 月にクリーニング作業がほぼ

完了したむかわ竜について、小林快次准教授（北海道大学総合博物館）が中心となって研究を進めた。

<来館状況>

平成 30 (2018) 年 4 月

24 日～26 日 小林快次准教授

平成 30 (2018) 年 5 月

7 日～9 日 小林快次准教授・高崎竜次（北海道大学大学院）

平成 30 (2018) 年 6 月

12 日～13 日 小林快次准教授・高崎竜次

平成 30 (2018) 年 7 月

29 日 高崎竜司・太田晶・鈴木花（北海道大学大学院）

31 日 高崎竜司・太田晶・鈴木花（北海道大学大学院）

平成 30 (2018) 年 10 月

24 日～26 日 小林快次准教授

平成 30 (2018) 年 11 月

6 日～8 日 小林快次准教授

10 日～14 日 小林快次准教授

12 日～14 日 高崎竜司氏（有限会社ゴビサポートジャパン穂別工場など）

平成 30 (2018) 年 12 月

12 日～15 日 小林快次准教授・高崎竜次

27 日～29 日 小林快次准教授・高崎竜次

平成 31 (2019) 年 1 月

17 日～20 日 小林快次准教授・高崎竜次

28 日～29 日 小林快次准教授・高崎竜次

平成 31 (2019) 年 2 月

26 日 小林快次准教授・高崎竜次

28 日 小林快次准教授・高崎竜次



むかわ竜の研究（小林快次准教授）

平成 31 (2019) 年 3 月

1 日～2 日 小林快次准教授・高崎竜司氏 21
日 小林快次准教授 (有限会社ゴビサポート
ジャパン穂別工場にてむかわ竜全身復元骨格
製作の監修)

【その他研究者等の来館】

平成 30 (2018) 年 7 月

19 日 山本龍治 (東京海洋大学大学院修士 1 年):
クジラの計測

平成 30 (2018) 年 8 月

1 日 石原大亮 (京都大学大学院修士 2 年): 地
質調査 (西村学芸員案内)

23 日 アイヌ民族文化財団 (学芸職員 2 名): ア
イヌ民族資料調査下見

平成 30 (2018) 年 9 月

5 日 本山功教授 (山形大学)・学生 3 名: 展示
資料調査

平成 30 (2018) 年 10 月

17 日 佐藤たまき准教授 (東京学芸大学): 展示
資料 (クビナガリュウ化石) 調査

28 日 平山廉教授 (早稲田大学): 展示資料 (カ
メ化石) 調査

28 日 太田晶 (北海道大学大学院): 展示資料調
査

平成 31 (2019) 年 3 月

15 日～16 日 佐藤たまき准教授 (東京学芸大):
ホベツアラキリュウ全身骨格修正の監修 (有
限会社ゴビサポートジャパン穂別工場)

【古生物学研究分室の開設】

平成 30 (2018) 年 5 月 31 日

平成 26 年 (2014) 年 9 月 1 日に締結した、「国立
大学法人北海道大学総合博物館とむかわ町の相互協力
協定」に基づき、北海道大学総合博物館古生物学研究
分室 (仮称) をむかわ町穂別博物館内に設置するとし
た「国立大学法人北海道大学総合博物館とむかわ町と
の連携・協力に関する覚書」を取り交わした。

平成 30 (2018) 年 11 月 11 日

北海道大学総合博物館古生物学研究分室について、
本開設に先立つ仮開設として、穂別博物館に看板を設
置した。

【研究協力】

(1) 「平成 30 年北海道胆振東部地震とその災害に関す
る総合調査」

研究機関 北海道大学大学院理学研究院

北海道大学大学院理学研究院 附属地震

火山研究観測センター

目的 地震後の地殻変動調査

研究内容 GNSS 機材をむかわ町穂別博物館屋上に
設置し、地震後の地殻変動を観測する

設置期間 平成 30 年 10 月 5 日～平成 30 年 11 月
30 日

設置機材 GNSS 観測機器

II 論文発表

(1) 北海道里平産アンモナイト記載論文 (英文) 出版 (国
立科学博物館モノグラフ): 重田康成 (国立科学博
物館)・伊豆倉正隆 (札幌市)・西村智弘 / 2 月 25
日出版 (3 新種アンモナイトを含む 141 点アンモ
ナイト当館に寄贈)



「相互協力協定に係る覚書締結式」(18.5.31)



「北海道大学総合博物館古生物学研究分室の設置」

Yasunari Shigeta, Masataka Izukura and Tomohiro Nishimura, Campanian (Late Cretaceous) ammonoids and inoceramids from the Ribira River area, Hokkaido, northern Japan. National Museum of Nature and Science Monographs, no. 50, pp. 1—139, 2019

- ① Ontogeny of *Canadoceras kossmati* Matsumoto, a Campanian pachydiscid ammonoid from Hokkaido, Japan . Yasunari Shigeta (重田康成), p. 1—11.
- ②むかわ町穂別博物館の2018年北海道胆振東部地震被害 . 西村智弘・櫻井和彦, p. 13—25.
- ③穂別産恐竜化石 調査記録 (4) : 第四次発掘 . 櫻井和彦・西村智弘, p. 27—33.

Ⅲ 学会・研修会等への参加

【日本古生物学会】

平成30(2018)年6月22日～24日 2018年年会(東
北大学) : 西村学芸員出席

平成31(2019)年1月25日～27日 例会(神奈
川県立生命の星・地球博物館) : 西村学芸員出席

【日本地質学会】

平成30(2018)年9月5日～6日 2018年学術
大会(北海道大学) : 西村学芸員出席・ポスター発
表予定(9/6)。胆振東部地震のためキャンセル(む
かわ町に戻る)。

【地質巡検】

平成30(2018)年6月25日～29日 東北地方
各地化石産地(研究者による自主巡検) : 西村学芸
員出席

Ⅳ 研究報告の発行

【研究報告第34号】

平成31(2019)年3月1日発行
論文・報告3篇



北海道大学地震火山研究観測センターによる観測機器設置

I 博物館周辺エリア再整備計画

穂別博物館のリニューアルを核とする「博物館周辺エリア再整備計画」について、「基本計画」が2018年3月に策定されたことを踏まえ、6月に意見公募（パブリックコメント）を実施し、その意見集約を受けて町民説明会を8月21日に穂別会場、22日に鶴川会場にて開催した。

しかしながら震災（下記）を受けて、当初は平成30（2018）年度中に予定されていた「基本設計」の作成は、平成31（2019）年以降へ延期されることとなった。

II 震災への対応

平成30（2018）年9月6日未明に発生した「平成

三十年北海道胆振東部地震」により、穂別地域は震度6強を観測した。この地震の影響により、穂別博物館は臨時休館を余儀なくされ、9～10月に予定されていた普及事業等が中止もしくは延期となった。

【臨時休館】

博物館の建物自体に影響はなかったが、展示資料の一部損壊および散乱などにより、地震が発生した9月6日から29日までを臨時休館とした。最終的に9月28日にホベツアラキリュウ全身復元骨格の安全が確認できたことから、9月30日に通常開館を再開した。

【普及事業等への影響】

(1) 恐竜産地での発掘体験ツアー 2018

9月に6日間全12回の実施を予定していた発掘体験ツアーについて、全ての回を中止した。

(2) ハドロキッズチーム（むかわ町こども化石くらぶ）

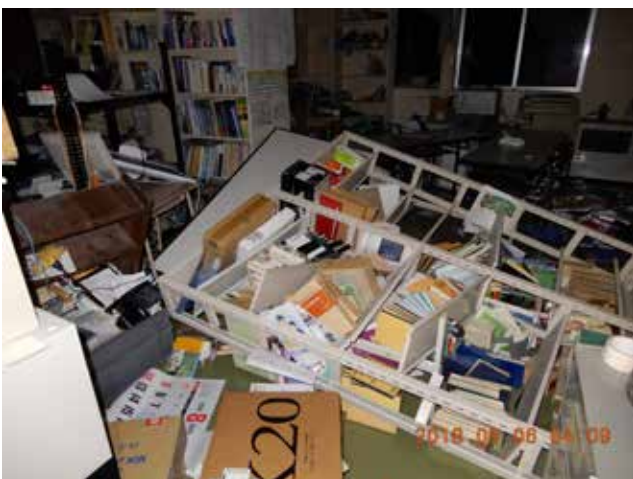
9月30日に予定されていた第5回の実施を中止



北海道胆振東部地震による被害（展示室）
現生ミンククジラ骨格標本の破損



北海道胆振東部地震による被害（展示室）
アンモナイト化石等の転倒



北海道胆振東部地震による被害（かせき学習館）



北海道胆振東部地震による被害（かせき学習館収蔵庫）

した。

(3) 町民文化祭

10月に開催が予定されており、当館も出展予定だった穂別町民文化祭について、主催者の判断により中止となった。

【外部からの支援】

展示室や事務室等の散乱した展示資料や書籍類などは、博物館職員が中心となって復旧作業を行なったが、一部、外部からの支援もいただいた。

平成30(2018)年9月15日・16日 中川晶子・椿谷菜摘(株式会社JTB):事務室等の散乱した書籍類の整理

平成30(2018)年9月21日 佐藤たまき准教授(東京学芸大学)・太田晶(北海道大学大学院):破損した現生骨格標本の修復作業

Ⅲ 行事等

【博物館協議会】

平成30(2018)年5月25日 第一回(6名参加)

Ⅳ 協力団体との連携

【穂別博物館協力会】

平成30(2018)年6月7日 学習用地水洗(1名参加)

Ⅴ 提携団体との連携

【北海道恐竜・化石ネットワーク】

平成30(2018)年8月8日 会合(北海道庁)

平成31(2019)年1月13日 北海道化石フェスト2019の開催(北海道博物館)

平成31(2019)年2月27日 会合(北海道庁)



北海道胆振東部地震による被害(かせき学習館作業場)



北海道胆振東部地震による被害(応接室)



北海道胆振東部地震による休館の掲示(正面玄関)



ホベツアラキリュウ全身復元骨格の安全確認(18.9.28)

VI モンゴル国科学アカデミーとの連携

世界有数の恐竜化石産地であるモンゴル国の国立研究機関である科学アカデミー古生物学研究所と北海道大学総合博物館、そして北海道大学総合博物館とむかわ町は連携協定を締結している。そこでむかわ町とモンゴル国科学アカデミー古生物学研究所が連携協定を結ぶことで三者による連携が実現することから、学術交流のみならず教育普及活動や地域振興のための経済交流を視野に入れ、連携に向けた取り組みを進めた。

平成 30(2018)年 6月 25日 駐日モンゴル国大使館を訪問（東京都杉並区）

平成 30(2018)年 11月 16日 ダンバダルジャー・バッチジャルガル特命全権大使就任祝賀会出席（駐日モンゴル国大使館：東京都杉並区）

平成 30(2018)年 12月 14日 モンゴル国首相との面談（北海道大学：札幌市）

VII 組 織

【博物館職員】＜平成 30(2018)年度＞

＜館長＞

館 長 櫻井和彦

＜管理担当＞

業務主任 中村 博

窓口担当（臨時職員） 早瀬千佳

窓口担当（臨時職員） 田村見弥

（～9月30日）

窓口担当（臨時職員） 谷口信江

（11月1日～）

＜学芸担当＞

学芸員 西村智弘

学芸補助員（嘱託職員） 中村正彦

学芸補助員（臨時職員） 片山由利絵

（～9月30日）

学芸補助員（臨時職員） 新飯田 学

（2月1日～10日）

学芸補助員（臨時職員） 本間初美

（～3月31日）

ボランティア

村上 隆

【博物館協議会委員】＜平成 30(2018)年度＞

任期：平成 28(2016)年 8月 1日 - 平成 30(2018)年 7月 31日

会 長 梅津讓一

副会長 山田正

委 員 只野繁

委 員 田中波留美

委 員 相澤孝行

委 員 宮田千春

委 員 大捕 功

委 員 栗原健一

VIII 刊行物

【むかわ町穂別博物館館報】

ISSN 1882-5230

第 35号：平成 29(2017)年度版

36頁、平成 31(2019)年 3月発行



特命全権大使就任祝賀会（18.11.16）

IX 利用状況

【常設展示観覧者】

平成 29(2017)年 4月～平成 30(2018)年 3月

月	一般	学生	小計	幼児	合計	開館日
4	1,025	505	1,530	256	1,786	26
5	2,573	827	3,440	431	3,871	25
6	858	247	1,105	159	1,264	26
7	1,757	590	2,347	362	2,709	29
8	3,795	1,618	5,413	739	6,152	30
9	305	59	364	48	412	5
10	946	230	1,176	153	1,392	25
11	1,187	325	1,512	228	1,740	26
12	210	31	241	37	278	25
1	148	33	181	39	220	21
2	225	58	283	53	336	23
3	622	151	773	168	941	26
計	13,651	4,714	18,365	2,636	21,001	287

(単位：人・日)

※ 9月6日～29日：震災による臨時休館

【博物館特定入館日】

[博物館開館記念日関連事業]

7月20日の開館記念日に関連して、平成30(2018)年7月16日～7月22日の7日間を町民無料入館日とした。

[国際博物館の日]

国際博物館会議（イコム、ICOM）のモスクワ大会（1977年）にて制定され、日本では平成14年度から日本博物館協会とイコム日本委員会が協力して記念事業が展開されることとなった「国際博物館の日」（5月18日）の趣旨に賛同し、当日を町民無料入館の日とした。

【年間入館者数の比較】

(単位：人)

分類	平成26年度 (2014)	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	
個人	一般	7,278	6,727	7,780	13,836	12,649
	学生	2,611	2,218	2,454	3,796	4,083
団体	一般	684	414	477	959	1,002
	学生	378	383	795	798	631
計	10,951	9,742	11,506	19,389	18,365	
幼児	1,690	1,621	2,049	2,942	2,636	
合計	12,641	11,363	13,555	22,331	21,001	

個人：割引入館者（穂別地球体験館との共通利用割引）と無料入館者（特定入館日、減免等）を含む。
 団体：10名以上、一般：高校生より上、学生：小学生～高校生、幼児：小学生未満（無料）

[北海道みんなの日]

7月17日が「北海道みんなの日（道みんなの日）」に制定されたのを受け、当日を北海道民の無料入館日とした。

「化石の日」

2017年に国際古生物学協会（International Palaeontological Association）によって、化石や古生物学の普及のきっかけを目的として「国際化石の日」（International Fossil Day）が10月第2週末に制定されたことを受け、2018年に日本古生物学会によって10月15日が日本国内における「化石の日」として制定された。

当館は古生物を展示する博物館としてその趣旨に賛同して、今年度以降「化石の日」を博物館設置条例第4条（別表）に基づき、当日を町民無料入館の日とした。

なお、今年度については10月15日が休館日（月曜日）に当たっていることから、その前日の10月14日（日）を『「化石の日」記念特定入館日』とした。

[博物館特定入館日に伴う町民無料入館] (単位：人)

実施日	行事名	一般	学生	計
H30.5.18	国際博物館の日	3	0	3
7.16-22	博物館開館記念日	9	0	9
7.17	北海道みんなの日	17	1	18
9.17	敬老の日 (臨時休館中)	-	-	-
10.14	化石の日	4	0	4
11.3	文化の日	1	0	1
11.23	勤労感謝の日	1	0	1
H31.1.4	成人の日	2	2	4
計	13日	37	3	40

一般：高校生より上、学生：小学生～高校生

【町内児童生徒に対する入館料免除】

学校完全週五日制及び「総合学習」の導入に合わせ、むかわ町内児童生徒並びに引率者については無料観覧とした。(平成 14 年度より実施)

平成 30 年度の利用者数：39 人

X 歳入・歳出

【歳入】

区 分		有料入館者数	観覧料
一般	個人	11,376	3,214
	団体	1,002	200
	割引	1,273	254
学生	個人	3,614	315
	団体	631	31
	割引	469	23
小 計		18,365	4,037
諸収入	物品販売代		36
	体験学習料		85
小 計			121
合 計			4,158

(単位：人・千円)

【歳出】

費 目	金 額
報 酬	2,055
共 済 費	844
賃 金	4,169
報 償 費	100
旅 費	778
需 用 費	8,451
役 務 費	772
委 託 料	12,872
使用料及び賃借料	647
工 事 費	16,988
備 品 購 入 費	384
負担金補助及び交付金	36
補償補填及び賠償金	10
博 物 館 費 合 計	48,106

(単位：千円)

XI 利用案内

【開館時間】

午前 9 時 30 分～午後 5 時 (入館は午後 4 時 30 分まで)

【休館日】

- ・毎週月曜日。
- ・国民の祝日の翌日。ただし、その翌日が土曜日および日曜日に当たるときは月曜日とし、月曜日が国民の祝日又はその翌日に当たるときは火曜日及び水曜日とする。
- ・12 月 31 日 -1 月 5 日。
- * 7、8 月は無休。

【観覧料】

	一般	学生
個人	300円	100円
団体	200円	50円
割引	100円	無料

一般：高校生より上

学生：小学生・中学生・高校生

幼児(未就学児童)は無料(要大人の付添い)

団体：10人以上

割引：穂別地球体験館(体験館)との共通利用割引(両施設を見学する場合の割引制度。体験館に先に入館した場合、この料金が適用される。当館を先に入館した場合は通常料金で、体験館の入館料が割引される。)

【減 免】

「博物館の展示場に入場しようとする者は、観覧料を納付しなければならない(むかわ町博物館設置条例、第4条)」が、「教育委員会は、特別の理由があると認めるときは、観覧料を減免することができる(同条例、第5号)」。減免は、教育・研究・福祉を目的とし、以下に従う。

むかわ町博物館施行規則第4条の規定による観覧料の減免は、次のとおりとする。

(教育目的)

- 1) むかわ町内の小・中学校及び高等学校の児童生徒と引率者が教育を目的として入館する場合。

(研究目的)

- 2) 国・地方公共団体及び学術研究機関の職員が調査・

研究のため入館する場合。

(福祉目的)

3) 老人福祉法(昭和38年法律第133号)第15条に規定する町内の老人福祉施設が収容者の養護計画の実施のため入館する場合。

4) 知的障害者福祉法(昭和35年法律第37号)第19条に規定する町内の知的障害者援護施設が収容者の養護計画の実施のため入館する場合。

(公益目的)

5) 前各号に定めるもののほか、公益上または教育振興上特に館長が必要と認める場合。

むかわ町穂別博物館館報

第36号

平成30(2018)年度版

発行 2020年3月

発行者 むかわ町穂別博物館

〒054-0211

北海道勇払郡むかわ町穂別80番地の6

TEL/FAX (0145) 45-3141